# あいち農産物生産流通レポート

平成２２年１０月号


◎情報サロン
・農業高校生が子どもたちに農業と生物多様性の大切さを伝えます　（食育推進課）……　1
◎地域トピックス
・第３２回愛知県果実品質改善共進会「ぶどうの部」が開催されました　（尾張農林水産事務所）……　2
◎東日本情報
・「地域の魅力発信セミナー」でメロン、次郎柿をＰＲ　（東京事務所）……　3
◎西日本情報
・栄・もちの木広場で愛知の農産物をＰＲしました　（食育推進課）……　5
◎フラワーページ
・彼岸期の花き需要について　（東京事務所）……　7

◎青　果
・愛知産青果物の動向（名古屋・東京市場）　……　8
・名古屋・東京市場における青果物の１０月の見通し　……　9

◎花　き
・切花・鉢花の１０月の見通し（県内市場）　……　２１

◎輸出入
・主要農産物の輸出入実績（２０１０年７月）　……　２５

◎関連指数　……　２６



内容についての問い合わせ先
愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ　(03)-5492-5400
愛知県農林水産部食育推進課　(052)-954-6417

情 報 サ ロ ン

食 育 推 進 課

## 農業高校生が子どもたちに農業と生物多様性の大切さを伝えます！

ＣＯＰ１０（生物多様性条約第１０回締約国会議）の開催が近づき、生物多様性に対する関心が高まっています。

県では、農作業体験や生物観察を通じ、地域の子どもや住民に、食と農業、そして生物多様性との繋がりを理解してもらう「農業高校生による生物多様性啓発事業」を、県内７つの農業高校で取り組んでいます。

### 取組の内容

**①農作業体験**
高校生の指導のもと、参加者に播種や定植、草取り、収穫等を体験してもらいます。

**②生物多様性の学習**
生物観察などを通し、田畑における生態系を知り、その営みの中で農業が成り立つことを感じてもらいます。

**③収穫物の調理体験・試食**
収穫した農作物を調理し、試食します。

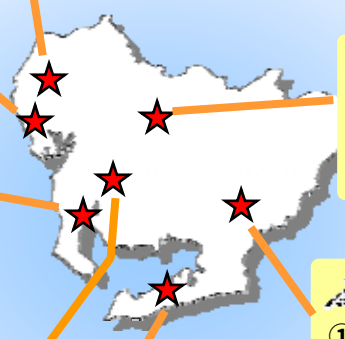
### 稲沢高校
①野菜の栽培体験
②畑や用水路・畦畔の動植物観察
③漬け物作り、とろろご飯作り

### 佐屋高校
①「アヒル農法」による稲作体験
②イネの出穂と開花、生物観察
③アヒル農法米（もち米）での餅つき

### 半田農業高校
①稲作体験
②水田周りの水生生物観察と捕獲
③お米の試食と食味試験

### 安城農林高校
①稲作体験
②イネの生育過程と水田小動物の観察
③餅つき、甘酒作り

### 渥美農業高校
①サツマイモ栽培体験
②菜の花の観察
③焼きイモ作り



### 猿投農林高校
①サツマイモ栽培体験
②畑の生き物観察
③石焼きイモ作り

### 新城高校
①サツマイモ栽培体験
②生物観察、茶の生育環境の学習
③茶葉の天ぷら・八名丸サトイモ試食

安城農林高校

新城高校

食事のあいさつ「いただきます」は、私たちが食べ物として植物・動物の命をいただいていることへの感謝の言葉です。この日本独自のあいさつは、まさに私たちの食や農が、生物多様性の上に成り立っていることを物語っているのではないでしょうか。

この事業を通して、参加する子どもたちにそれを感じてもらえればと期待しています。

**この取組の模様は、10 月 20 日(水)にウィルあいち（名古屋市東区）で開催する「生物多様性に配慮した農業推進フォーラム」にて、事例発表を行います。参加申込方法等は、県ホームページ（http://www.pref.aichi.jp/0000035235.html）をご覧ください。**

**地域トピックス**

尾張農林水産事務所

## 第３２回愛知県果実品質改善共進会「ぶどうの部」が開催されました

愛知県では、夏の果実を代表する「ぶどう」、「いちじく」の栽培技術の向上と消費拡大を目的に、毎年「旬」の時期に共進会を開催しています。

「ぶどうの部」の共進会は、平成２２年８月１９日(木)にグリーンパレス春日井（春日井市）で開催されました。

今回は「巨峰」を始め高品質なぶどう８９点が出品され、農業総合試験場園芸研究部職員などの技術者による専門審査で特選１５点、入選１１点が選出されました。

今年は春先の低温・日照不足に始まり、集中豪雨や梅雨明け後の猛暑など、ぶどう栽培にとって厳しい気象状況でしたが、出品の平均糖度は 19.1％と特に糖度の優れたものが多く、生産者の努力がうかがえるものでした。

また、外観から食べてみたい、購入したいもの選ぶ、地元の小学生親子４組による親子審査が行われ、消費者特別賞１点が選出されました。

そのほか、共進会会場では、独立行政法人農業技術研究機構果樹研究所で育成された「シャインマスカット」と「クイーンニーナ」の展示紹介がありました。

◇主な受賞者◇　（敬称略）

農林水産大臣賞　織田　勝
生産局長賞　　平林　福男
東海農政局長賞　鈴木　宏誠
愛知県知事賞　　石田　素美子
消費者特別賞　　小野田尊禧

**審査の様子（左：専門審査、右：親子審査）**

東 日 本 情 報

東京事務所農産物流通対策グループ

## 「地域の魅力発信セミナー」でメロン、次郎柿をＰＲ

「地域の魅力発信セミナー」は、地方の魅力を駐日外交官の皆さんに伝え、理解を深めてもらうことを目的に、外務省と地方公共団体が共催して昨年より行われています。

愛知のプレゼンテーション

昨年度は全国を６ブロックに分けてブロックごとに開催され、第４回セミナー（７月９日：東海・北陸ブロック）に本県を始め６自治体が参加し、農産品を始め企業誘致、観光誘致のＰＲを行いました。

今回は本年度第１回目のセミナーで、「産業振興、ものづくり、企業誘致等」をテーマとして、９月 14 日（火）に、外務省新庁舎において、本県を始め福井県、兵庫県、岡山市、川崎市の５自治体が参加し、駐日外交官及び駐日国際関係機関・団体等 63 名に対して、プレゼンテーションと交流会を行いました。　５自治体による外交団に対するプレゼンテーションで本県は２番手で登壇し、本県の国際交流員であるケビン・シュタインバックさんが英語で、①世界に誇る愛知のブランド企業、②誘致した外国企業、③輸出している次郎柿とアールスメロン（豊橋・田原地区もあわせて紹介）、④ 10 月に名古屋市で開催されるCOP10、⑤現在開催している「あいちトリエンナーレ」、の紹介とＰＲを行いました。

国際交流員のケビンさん

引き続き行われた交流会は、５自治体が各ブースにおいて、テーマに関連した展示、試食を行い、外交官の皆さんと意見交換を行いました。

本県ブースでは、豊橋市の次郎柿、田原市のアールスメロンの試食を行いま

熱心に聞き入る参加者

した。試食された方は、「次郎柿」を食べるのは初めての方が多く、「美味しい」「グッド」という反応が多く聞かれました。中には熱心に質問する外交官もみられ、当農産物に対する関心の高さを実感することができました。

今回のセミナーを通して、愛知の農産物の魅力が少しでも外交団の皆さんに理解され、農産物輸出の礎になれば良いと考えます。

**＜次郎柿、メロン輸出の取組み＞**

「豊橋田原農産物輸出研究会」（豊橋市、田原市、JA豊橋、JA愛知みなみ）は、平成16年に香港への「次郎柿」のサンプル輸出を契機に、平成18年にはタイ・バンコクにテスト輸出を行いました。平成19年には「次郎柿」に加え、田原産アールスメロンを香港にテスト輸出し、市内高級スーパー等で販売しています。

次郎柿、アールスメロンの試食

その後も、香港や台湾での即売会や見本市への出展など、豊橋田原産農産物の輸出推進に取り組んでいます。

このほか、豊田市や豊川市においても、農産物輸出促進に係る協議会等が設立され、愛宕梨やイチゴ、イチジクのテスト輸出が行われています。また、美浜町では温室みかん「みはまっこ」をカナダ・バンクーバ日本国総領事館でのレセプションや洞爺湖サミットでの海外メディア向けの食事に提供し、輸出に向けたＰＲを行っています。

その他、「茶」「洋ラン」「大葉」なども輸出されています。

アールスメロンと次郎柿の展示

西 日 本 情 報

食 育 推 進 課

# 栄・もちの木広場で愛知の農産物をＰＲしました

名古屋で今年最後の猛暑日となった９月 11 日（土）から翌 12 日（日）にかけて、「ふるさと全国県人会まつり 2010」が中区栄の久屋大通公園で開催されました。

## 1　ふるさと全国県人会まつり

ふるさと全国県人会まつりは、東海地方で活躍する全国の県人会が主体となって、各県の伝統芸能や踊り、民謡などを披露するほか、物産品の販売や観光案内などを通してふるさとの温かさや魅力をＰＲする催しで、今年で１０回目の開催になります。

会場では、１０年の節目として「まつり」をテーマとしたステージで全国の祭りが繰り広げられたほか、３７道県人会と愛知県など５団体が８２ブースを出展し、２日間で約１１万人が来場しました。

ゆるキャラステージ

## 2　愛知県のブース出展

会場は熱気に包まれ、多くの来場者がふるさとの祭りを楽しんだり、各出展者のブースを訪れて特産品を買い求めたりしていました。

愛知県の出展した３つのブースには、現在開催中のあいちトリエンナーレのＰＲ、名古屋コーチンの販売とともに、愛知県・ＪＡあいち経済連で構成する愛知県農産物需要拡大推進協議会が旬の青果物と花きの販売を行いました。

## 3　本県産農産物のＰＲ活動

青果はトマト、ミニトマト、いちじく、ハウスみかん、なしの５品目を、花きはスプレーマム、観葉植物の 2 品目を展示販売しました。

このほか、新しい食べ方のレシピの紹介や、各品目を紹介したリーフレットを配布するなど、本県産農産物をＰＲしました。

また、農業総合試験場が開発した新品種の輪菊「夏黄２号」、スプレーカーネーション「カーネ愛知４号、カーネ愛知５号」のパネルを展示し、日本一の花の産地を支える技術を来場者に伝えました。

愛知県ブース

## ４　来場者の声や反応等

〇トマト

今年は果菜の高値が続いたことから、市場価格で割安感があるトマトの販売は好評でした。氷で冷やしたトマトをその場でおいしそうに食べている人もいました。

〇ミニトマト

35 度を超える炎天下、氷水で冷やしたミニトマトを網ですくう「ミニトマトすくい」は目にも涼しげで、子ども連れの来場者にたいへん好評でした。中には１パック分に近い量をすくう「強者」も現れました。

ミニトマトすくい

〇いちじく

気温が高かったことから初日のみの販売となりましたが、反応は上々で、１人で２～３パック買っていく来場者もありました。熊本県のブースでも、地元の農業振興のために、愛知のいちじくも販売しているとのことでした。

〇ハウスみかん

販売した「みはまっこ」は、夏場の高温で卸値が高かったため、販売価格はやや高めでしたが来場者には好評でした。

〇なし（豊水）

地元安城の豊水は、鳥取県ブースの二十世紀なしにも引けを取らない人気がありました。

〇切花（スプレーマム）

切花は今年から販売し、３色で一束のスプレーマムを販売しましたが、来場者には飲食を楽しみに来ている人が多く、販売面ではやや苦戦しました。

購入者は熱心に話を聞いてから買う人が多く、イベント会場での花の販売には動機付けが重要であると感じました。

〇観葉植物（ポトス）

新品種の斑入りのポトスを販売しました。珍しさから話を聞いてくれる来場者をいかに購入者に結びつけるかが大変難しいことを感じました。

全国の魅力的な特産物を扱うブースが立ち並ぶ中で、地元の農産物や花きに親しみを持ってくれる数多くの来場者に訪れていただくことができました。

フラワーページ

東京事務所行政課農産物流通対策グループ

# 彼岸期の花き需要について

花き類は、全国的に梅雨明け後の高温・乾燥の影響で生育遅れがみられ、彼岸需要期の入荷量は例年に比べて少なくなりました。その影響で品薄感から生花店等からの引き合いは強まりました。 特に、数量を確保できない業者も多くみられ、彼岸直前まで仕入れをおこなったため、荷動きは活発で高値が続きました。各品目毎の入荷動向と販売状況については以下の通りです。

＜輪キク＞

７月盆、８月盆ともに入荷量が少なく、生花店や量販店では仕入れに苦戦するところもみられました。このため、彼岸需要を見越して早めの仕入れを行う動きが多くみられ、９月上旬より高値での取引となりました。彼岸前週の 17 日には、大田市場で白ギクが１本当り平均 79 円（前年対比 125 ％）の高値となりました。このため、中国、韓国産の輪ギクが需要の不足分を埋める形で輸入されました。

＜小ギク＞

主力となる東北産地などにおける高温・乾燥の影響で８月期の入荷量が激減し、スプレーギク等代替もので補完する状況となりました。彼岸需要についても同様に生育遅れとなり入荷量が非常に少なく、仲卸業者等で予約注文の納品ができなくなる状況もみられました。このため彼岸前週の17日には、太田市場の販売価格は１本当り平均47円（前年対比143％）という例年にない高値となりました。

＜スプレーギク＞

全国的に生育遅れが目立ち、需要期の彼岸を中心に例年より少なめの入荷となりました。また小ギクが少ない影響で代替として需要期中は引き合いが強くなり、高値での取引となりました。

＜バラ＞

西南暖地、高冷地ともに猛暑の影響を受け、茎が短めで上位等階級の発生比率が低く、入荷量も昨年より少ない状況でした。ケニア、エチオピア産等の輸入物に関しても現地の天候不順により入荷量は少なめでした。

敬老の日やブライダル需要で引き合いは強かったものの、上位等階級を中心に十分な供給がなされず、全般に高値での取引となりました。

＜カーネーション＞

主要産地で開花が前進したため、彼岸期の入荷量は少ない状況でした。また、コロンビア産・中国産ともに現地の天候不順により作柄は良くありませんでしたが、安定した入荷量で推移しました。彼岸需要としては、赤・ピンク系に引き合いが強く、堅調な市場価格となりました。

＜ユリ類＞

主要産地で開花が前進したため、彼岸期の入荷量は少ない状況でした。特にテッポウユリは北海道産、長野産の入荷が少なく、韓国産を中心に販売され、堅調な市場価格となりました。

オリエンタル系、アジアンテック系の入荷量も全体に少なく、需要期中は引き合いが強くなり、安定した取引となりました。

# 愛　知　産　青　果　物　の　動　向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか　：±２％台以内
や　や　：±３～５％台
かなり　：±６～15％台
大　幅　：±１６％以上

## ○　名古屋市中央卸売市場（品目：次郎柿）

| | 入荷量（t） | うち愛知産 | 卸売価格（円/kg） | うち愛知産 | 前年の主な他産地（上位３産地） |
|---|---|---|---|---|---|
| ２１年実績 | ３９３ | １１９（３０％） | １７１ | ２２１ | 三重　（７０％）<br>岐阜　（　０％） |
| ２２年見通し | ２８０ | － | ２３０ | － | |

| 入荷量及び卸売価格の概要と見通し | 卸売市場から産地への要望・提言等 |
|---|---|
| 三重、愛知と、岐阜から少量入荷。<br>昨年の台風１８号、春先の低温・凍霜害による着花不足、梅雨明けの高温による日焼け果の発生、カメムシの発生等もあり、収穫量は平年に比べて減少し、下級品も発生し、小玉傾向となる見込み。<br>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。 | 高齢者を中心に、食べやすい種なし品種が好まれる傾向にある。<br>品種を決めて柿を買う顧客は少なく、ＰＲの効果がある果物だが、現状は、岐阜の富有柿、和歌山の平核無に比べて、生産地のＰＲが小規模で、回数も少ない。<br>栄養価が豊富な食品として顧客が固定化しているので、若者、子どもにも食べてもらえるデザートメニューの開発が重要である。 |

## ○　東京都中央卸売市場（品目：次郎柿）

| | 入荷量（t） | うち愛知産 | 卸売価格（円/kg） | うち愛知産 | 前年の主な他産地（上位３産地） |
|---|---|---|---|---|---|
| ２１年実績 | ８２１ | ７２１（８８％） | ２０７ | １９９ | 静岡　（１０％）<br>岐阜　（　１％） |
| ２２年見通し | ７００ | － | ２６０ | － | |

| 概要と見通し | 卸売市場から産地への要望・提言等 |
|---|---|
| 愛知中心に静岡などから入荷する。<br>本県産は夏場の高温・干ばつの影響で生育遅れ、着色遅れが目立っている。また日焼け果の発生が例年になく多い。このため全体数量は昨年を下回るものと思われる。<br>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込みである。 | 「りんご」「みかん」など競合する果実が本格化する時期にあたる。果実全体に販売環境が厳しい中で、いかに安定した品質の「柿」を消費者に提供できるのかが重要となる。このため、選果選別の徹底はもとより、予約販売に向けた的確な出荷情報の提供が求められる。 |

# 名古屋・東京市場における青果物の９月の見通し

## 名古屋市中央卸売市場

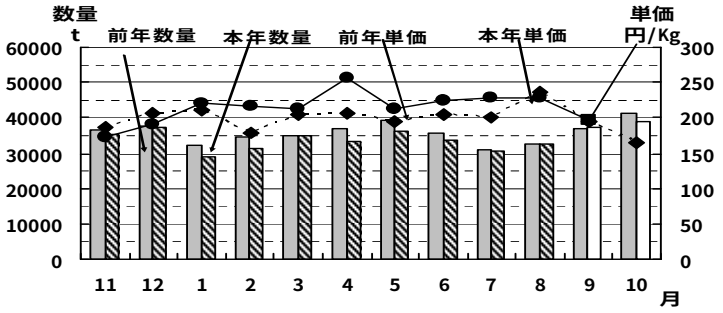
**９月１５日 現在**　　単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 野菜計 | １７年 | ４２，１９４ | １７５ | 183 | 167 | 176 | 北海道 | 42% |
| | １８年 | ４２，６９３ | １７３ | 193 | 175 | 156 | 長野 | 17% |
| | １９年 | ４１，９２８ | １９４ | 195 | 191 | 195 | 茨城 | 8% |
| | ２０年 | ４１，４９５ | １８５ | 202 | 186 | 170 | 群馬 | 6% |
| | ２１年 | ４１，４０７ | １６５ | 158 | 169 | 169 | | |
| | ５ヵ年平均 | ４１，９４３ | １７８ | ― | ― | ― | | |
| | ２２年見通し | ３８，９００ | ２０４ | ― | ― | ― | | |

**産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し**

産地は北海道、長野、北関東が中心。葉ものを中心に、４月の低温とその後の長雨、梅雨明け後の猛暑で生育不良や下級品の割合が増え、小玉傾向。北海道の土ものは今年も入荷量少ない見込み。
入荷量は、前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。

**前年及び本年の入荷量・価格の動き**

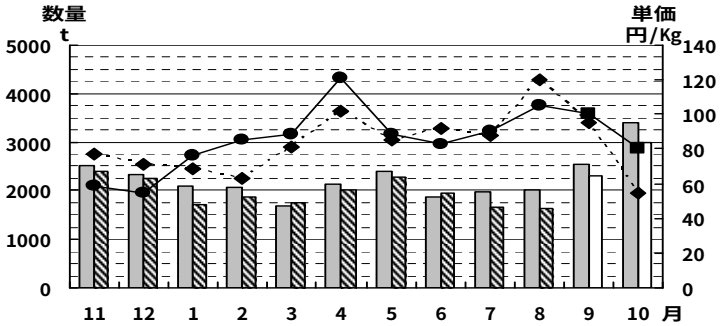



| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| だいこん | １７年 | ３，４１４ | ８０ | 89 | 70 | 85 | 北海道 | 40% |
| | １８年 | ３，３５４ | ５８ | 64 | 57 | 55 | 青森 | 39% |
| | １９年 | ２，９２５ | ９９ | 120 | 92 | 87 | 愛知 | 7% |
| | ２０年 | ３，０８４ | ９１ | 138 | 74 | 66 | 新潟 | 7% |
| | ２１年 | ３，４１６ | ５５ | 55 | 52 | 59 | | |
| | ５ヵ年平均 | ３，２３９ | ７６ | 92 | 68 | 70 | | |
| | ２２年見通し | ３，０００ | ８０ | 80 | 80 | 80 | | |

**産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し**

産地は北海道、青森中心。播種期の低温、梅雨明け後の高温から傷みが出て、生育は不安定で入荷は少なめとなる。気温の低下とともに数量も平年並みに回復する見込み。
入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。

**前年及び本年の入荷量・価格の動き**

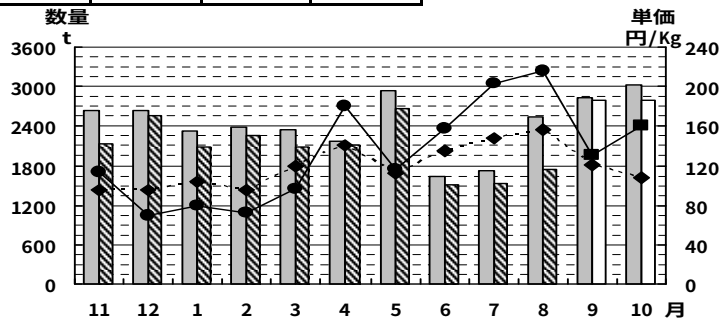



| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| にんじん | １７年 | ３，６３１ | ８６ | 90 | 86 | 84 | 北海道 | 95% |
| | １８年 | ３，２９４ | １２９ | 164 | 141 | 90 | 青森 | 5% |
| | １９年 | ３，３３５ | １１１ | 104 | 109 | 119 | 山形 | 0% |
| | ２０年 | ３，４１８ | １０８ | 117 | 109 | 98 | 岡山 | 0% |
| | ２１年 | ３，０２０ | １０８ | 105 | 119 | 102 | | |
| | ５ヵ年平均 | ３，３３９ | １０８ | 116 | 112 | 98 | | |
| | ２２年見通し | ２，８００ | １６０ | 160 | 160 | 160 | | |

**産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し**

産地は北海道中心で一部青森。梅雨明け後の高温で傷みがはげしく、下級品が多いが、気温の低下とともに品質は回復する見込み。北海道は産地により生育にばらつきがあり、切り上がりは早くなる見込み。
入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。

**前年及び本年の入荷量・価格の動き**



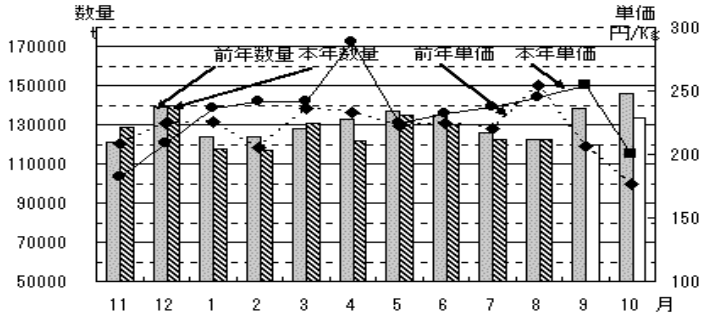
**東京都中央卸売市場**

**９月２４日 現在**　　単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 野菜計 | １７年 | １３６，５１３ | １９０ | 201 | 179 | 191 | 北海道 26% |
| | １８年 | １３８，４３７ | １８９ | 211 | 195 | 166 | 茨城 15% |
| | １９年 | １４０，１７２ | ２１９ | 227 | 215 | 216 | 千葉 10% |
| | ２０年 | １４３，７１１ | ２０５ | 220 | 220 | 205 | 長野 10% |
| | ２１年 | １４６，４５４ | １７７ | 168 | 179 | 184 | (愛知産比率 1%) |
| | ５ヵ年平均 | １４１，０５７ | １９６ | ― | ― | ― | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | １３４，０００ | ２００ | ― | ― | ― | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

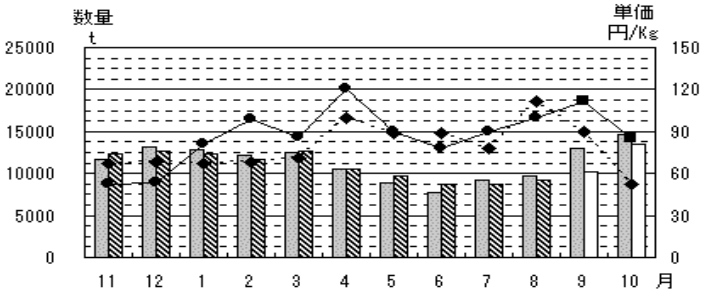
北海道、東北からの入荷が減少し、関東産地からの入荷が本格化する。
各産地ともに７月、８月の高温、干ばつ、集中豪雨などの天候不順の影響が残り、生育不良、小玉傾向が見られる。
入荷量はやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。




| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| だいこん | １７年 | １２，３８４ | ７２ | 81 | 64 | 73 | 北海道 33% |
| | １８年 | １２，７２７ | ５４ | 60 | 56 | 46 | 青森 31% |
| | １９年 | １２，９１６ | ９３ | 115 | 87 | 78 | 千葉 21% |
| | ２０年 | １３，７９５ | ８３ | 131 | 68 | 53 | 岩手 7% |
| | ２１年 | １４，５９６ | ５２ | 57 | 47 | 52 | (愛知産比率 1%) |
| | ５ヵ年平均 | １３，２８４ | ７１ | 89 | 64 | 60 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | １３，５００ | ８５ | 90 | 85 | 80 | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

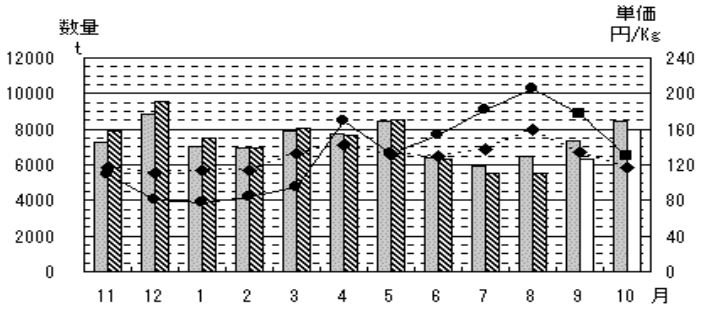
東北、北海道が終盤を迎え、関東産地からの入荷が始まる。北海道は夜温が下がり始め生育が回復しているが、切り上がりは早い。青森は干ばつ傾向のため、小ぶり傾向。千葉の生育は１週間程度の遅れあり。
全体の入荷量はやや前年を下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。




| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| にんじん | １７年 | ８，２５３ | ８７ | 101 | 83 | 79 | 北海道 88% |
| | １８年 | ７，４７５ | １３２ | 161 | 148 | 96 | 青森 9% |
| | １９年 | ８，３５７ | １１６ | 114 | 114 | 120 | 中国 1% |
| | ２０年 | ８，３２６ | １１４ | 121 | 119 | 104 | 千葉 1% |
| | ２１年 | ８，４１０ | １１７ | 115 | 120 | 115 | (愛知産比率 0%) |
| | ５ヵ年平均 | ８，１６４ | １１３ | 122 | 116 | 103 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | ７，９８０ | １３０ | 140 | 135 | 115 | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

北海道中心の入荷となる。北海道は７月下旬からの高温、多雨の影響により病害が発生しほ場廃棄が発生したが、天候の回復から１０月半ばには平年並みの出荷となる見込みである。
入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。



## 名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

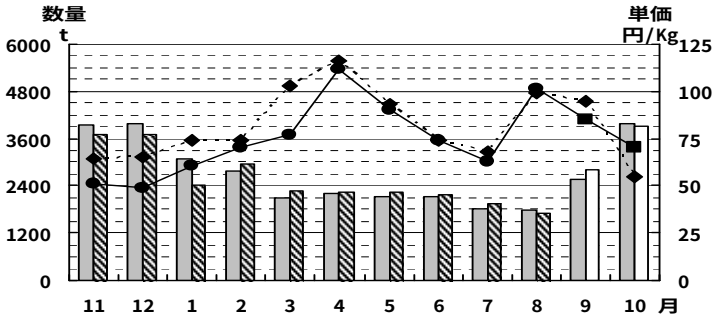
| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| はくさい | １７年 | ４，５９２ | ６９ | 71 | 56 | 83 | 長野 85% |
| | １８年 | ４，８０３ | ５９ | 74 | 54 | 50 | 北海道 9% |
| | １９年 | ４，８０４ | ８５ | 81 | 89 | 86 | 茨城 6% |
| | ２０年 | ４，１８５ | ８２ | 111 | 75 | 64 | |
| | ２１年 | ３，９６０ | ５５ | 59 | 48 | 58 | |
| | ５ヵ年平均 | ４，４６９ | ７０ | 79 | 65 | 69 | |
| | ２２年見通し | ３，９００ | ７０ | 70 | 70 | 70 | |

**前年及び本年の入荷量・価格の動き**

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は長野中心で一部北海道。長野は、梅雨明け後の高温で腐敗や病害虫が発生し不作傾向。茨城が中旬から入荷する予定だが生育は遅れぎみ。市場は業務需要が中心となる。

入荷量は前年並みで、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。



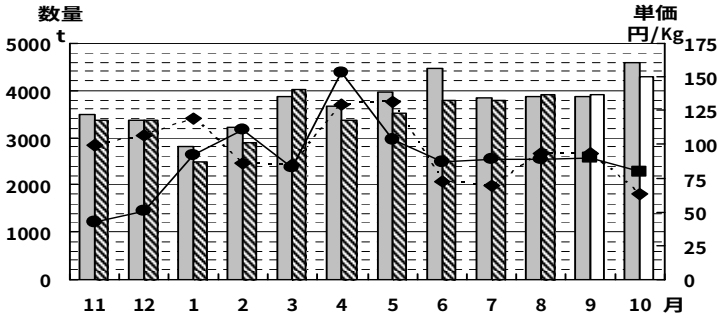

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| キャベツ | １７年 | ３，８１４ | ６４ | 67 | 58 | 67 | 群馬 43% |
| | １８年 | ４，３４４ | ８３ | 109 | 78 | 67 | 茨城 27% |
| | １９年 | ４，７４３ | ８０ | 79 | 76 | 85 | 長野 14% |
| | ２０年 | ４，６０３ | ７４ | 81 | 71 | 71 | |
| | ２１年 | ４，５８４ | ６３ | 70 | 60 | 59 | |
| | ５ヵ年平均 | ４，４１８ | ７３ | 81 | 69 | 70 | |
| | ２２年見通し | ４，３００ | ８０ | 80 | 80 | 80 | |

**前年及び本年の入荷量・価格の動き**

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は群馬、長野の高原ものと北海道。今月から愛知、茨城が入荷。梅雨明け後の高温により、生育は悪く小玉傾向で棚もちが悪くなっている。愛知は高温による播種の遅れから入荷時期が遅れる見込。

入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。



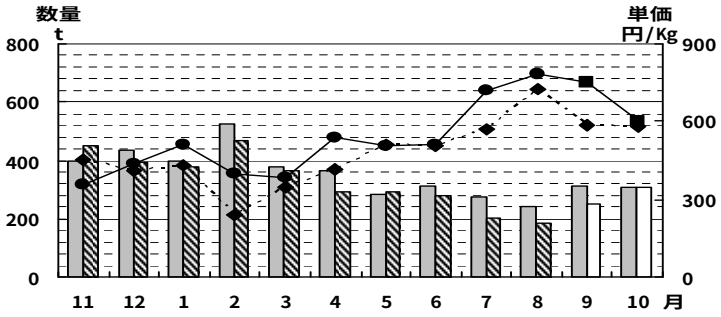

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ほうれんそう | １７年 | ３９８ | ５７５ | 611 | 542 | 583 | 岐阜 51% |
| | １８年 | ４９３ | ３８８ | 459 | 484 | 285 | 愛知 32% |
| | １９年 | ３７０ | ６１７ | 766 | 618 | 516 | 茨城 5% |
| | ２０年 | ３６０ | ５５２ | 920 | 533 | 407 | 群馬 4% |
| | ２１年 | ３０８ | ５７８ | 546 | 743 | 504 | |
| | ５ヵ年平均 | ３８６ | ５３１ | 649 | 572 | 449 | |
| | ２２年見通し | ３１０ | ６００ | 650 | 600 | 550 | |

**前年及び本年の入荷量・価格の動き**

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は岐阜中心で、愛知が出てくる。岐阜は、品種の切り替え期で順調に出る予定。愛知は高温による定植の遅れと生育不良で10日から2週間ほど遅れている。

入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。



## 東京都中央卸売市場

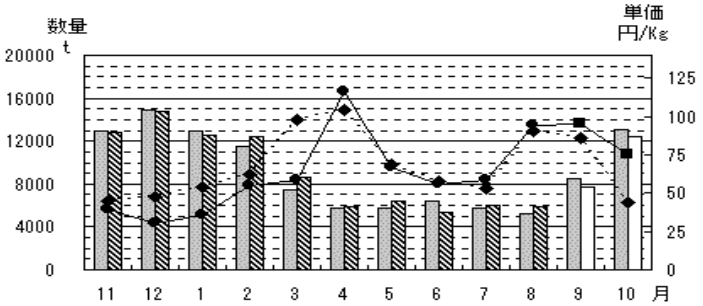
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| はくさい | １７年 | １３，４６３ | ５１ | 59 | 43 | 53 | 長野 59% |
| | １８年 | １３，９４０ | ４６ | 66 | 45 | 32 | 茨城 23% |
| | １９年 | １３，０００ | ７６ | 81 | 82 | 67 | 北海道 11% |
| | ２０年 | １３，０２２ | ７０ | 107 | 67 | 47 | 群馬 6% |
| | ２１年 | １３，１０１ | ４４ | 51 | 41 | 42 | (愛知産比率 -%) |
| | ５ヵ年平均 | １３，３０５ | ５７ | 73 | 55 | 48 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | １２，４５０ | ７５ | 80 | 75 | 70 | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

長野及び茨城からの入荷が増えてくる。長野は高温干ばつの影響から病害の発生が多く見られ、結球不足もあり小玉傾向である。茨城は高温干ばつの影響により定植が１週間程度遅れている。

入荷量はやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。

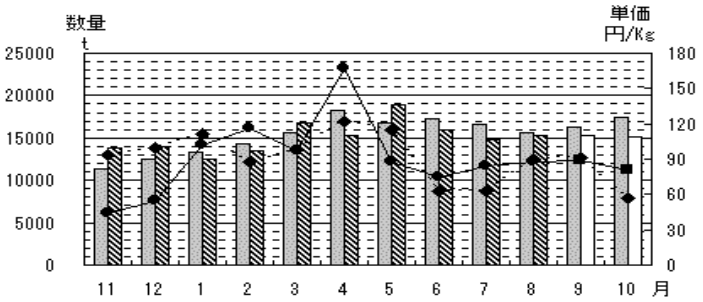



| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| キャベツ | １７年 | １４，５０３ | ５７ | 63 | 53 | 56 | 群馬 45% |
| | １８年 | １４，８０４ | ７６ | 106 | 73 | 56 | 千葉 20% |
| | １９年 | １５，１７５ | ７５ | 76 | 74 | 76 | 茨城 13% |
| | ２０年 | １５，３３７ | ６９ | 80 | 65 | 62 | 岩手 10% |
| | ２１年 | １７，３５５ | ５７ | 68 | 53 | 51 | (愛知産比率 0%) |
| | ５ヵ年平均 | １５，４３５ | ６７ | 78 | 63 | 60 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | １５，２００ | ８０ | 90 | 75 | 75 | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

北海道、東北産が減少し、関東産地中心の入荷となる。群馬は高温干ばつの影響から一部に病害が見られる。千葉は高温干ばつの影響で生育が遅れぎみであるが病害はなく、品質は概ね良好な見込み。

入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。

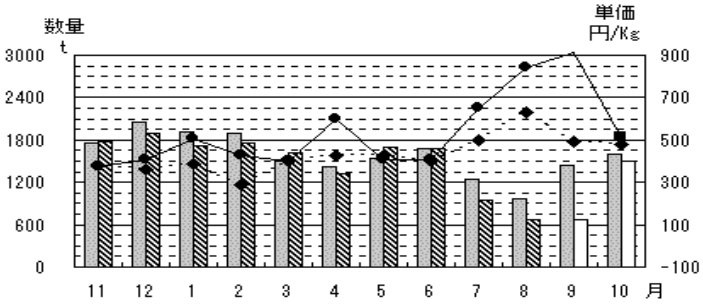



| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ほうれんそう | １７年 | １，９３８ | ４５８ | 516 | 442 | 435 | 群馬 33% |
| | １８年 | １，８５４ | ４０７ | 403 | 507 | 333 | 茨城 19% |
| | １９年 | １，７０６ | ５３４ | 612 | 538 | 471 | 栃木 13% |
| | ２０年 | １，７９２ | ４６４ | 731 | 419 | 345 | 岩手 12% |
| | ２１年 | １，５９７ | ４７８ | 391 | 647 | 447 | (愛知産比率 0%) |
| | ５ヵ年平均 | １，７７７ | ４６７ | 532 | 506 | 405 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | １，５００ | ５１０ | 520 | 510 | 500 | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

関東産地と岩手からの入荷となる。群馬は高温、干ばつによる発芽及び生育不良が見られる。栃木は生育が高温により遅れていたが回復傾向。岩手は高温の影響により発芽不良で停滞傾向。

入荷量は前年をかなり下回り、価格も前年をかなり上回る見込み。

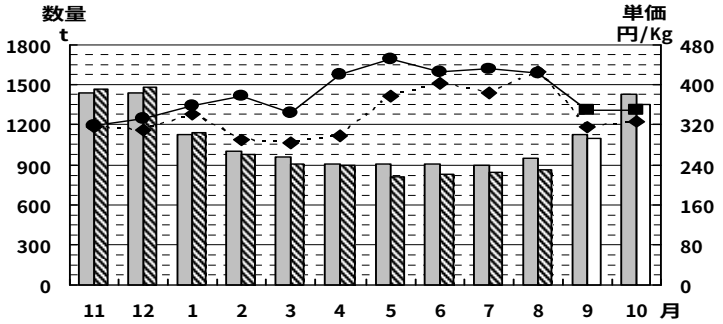


## 名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ねぎ | １７年 | １，３２２ | ２９０ | 328 | 263 | 288 | 北海道 36% |
| | １８年 | １，２０２ | ３３３ | 380 | 337 | 294 | 富山 13% |
| | １９年 | １，３９５ | ３９９ | 457 | 377 | 373 | 愛知 9% |
| | ２０年 | １，４２３ | ３２５ | 378 | 309 | 289 | 長野 8% |
| | ２１年 | １，４２８ | ３２６ | 326 | 351 | 306 | |
| | ５ヵ年平均 | １，３５４ | ３３５ | 374 | 328 | 311 | |
| | ２２年見通し | １，３５０ | ３５０ | 380 | 350 | 320 | |

**前年及び本年の入荷量・価格の動き**



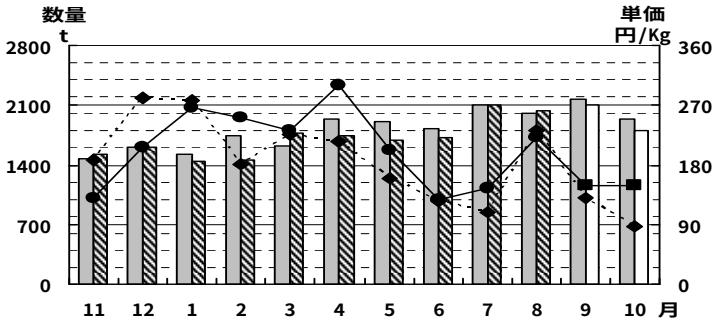

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は北海道の白ねぎ中心で他に富山、長野。作柄は悪いが気温の低下とともに回復する見込み。愛知の長ねぎも高温により品質悪く、量は少なめとなる。

入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| レタス | １７年 | ２，１４９ | １５１ | 131 | 137 | 184 | 長野 50% |
| | １８年 | ２，３３３ | １２１ | 135 | 124 | 107 | 茨城 43% |
| | １９年 | ２，０５０ | １８２ | 224 | 174 | 155 | 兵庫 5% |
| | ２０年 | １，８７０ | １７９ | 240 | 174 | 137 | 北海道 1% |
| | ２１年 | １，９３６ | ８８ | 74 | 90 | 100 | |
| | ５ヵ年平均 | ２，０６７ | １４４ | 159 | 139 | 137 | |
| | ２２年見通し | １，８００ | １５０ | 150 | 150 | 150 | |

**前年及び本年の入荷量・価格の動き**



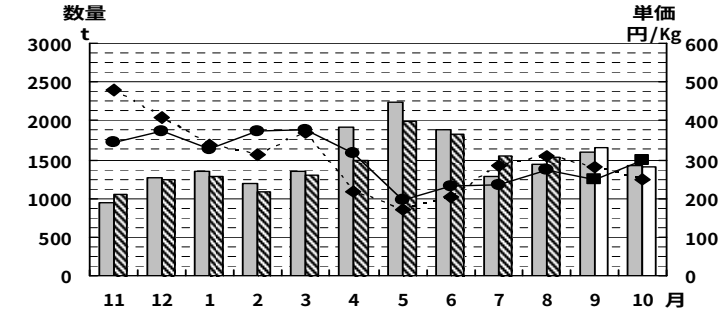

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は長野中心で、関東の平野部からの入荷が増えてくる見込み。各地とも、梅雨明け後の高温により生育は悪く小玉傾向だが、産地移行とともに入荷量も増えてくる見込み。

入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| きゅうり | １７年 | １，５１７ | ２９８ | 230 | 254 | 433 | 群馬 35% |
| | １８年 | １，７１４ | １９４ | 205 | 221 | 162 | 埼玉 23% |
| | １９年 | ２，３１６ | ２２１ | 166 | 233 | 276 | 山梨 12% |
| | ２０年 | １，４５４ | ３１７ | 391 | 275 | 294 | 長野 12% |
| | ２１年 | １，４１２ | ２４８ | 200 | 294 | 260 | |
| | ５ヵ年平均 | １，６８３ | ２５１ | 230 | 252 | 282 | |
| | ２２年見通し | １，４００ | ３００ | 300 | 300 | 300 | |

**前年及び本年の入荷量・価格の動き**




産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は群馬、埼玉が中心。各産地とも作付面積は減少。梅雨明け後に高温が続いたことから、夏秋産地の切り上がりは早まる見込み。抑制ものは上中旬に入荷が始まる。

入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に上回る見込み。

## 東京都中央卸売市場

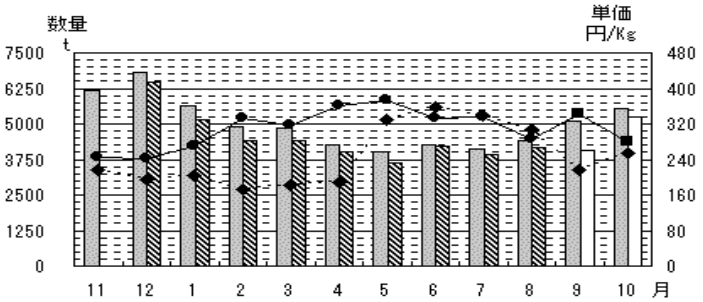
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ねぎ | １７年 | ５，９５７ | ２０９ | 251 | 206 | 184 | 青森 29% |
| | １８年 | ５，２６９ | ２４１ | 273 | 257 | 202 | 秋田 12% |
| | １９年 | ５，７６１ | ３１４ | 403 | 274 | 270 | 茨城 10% |
| | ２０年 | ６，２５４ | ２３２ | 314 | 209 | 180 | 北海道 8% |
| | ２１年 | ５，５４５ | ２５５ | 275 | 267 | 229 | （愛知産比率 -%） |
| | ５ヵ年平均 | ５，７５７ | ２５０ | 304 | 241 | 212 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | ５，２６０ | ２８０ | 300 | 280 | 260 | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

青森、秋田に加え、関東産地からの入荷が増加。青森、秋田は高温や集中豪雨の影響で病害が発生しており品質の不良が散見される。茨城は高温、干ばつにより生育が１週間程度遅れている。

入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。

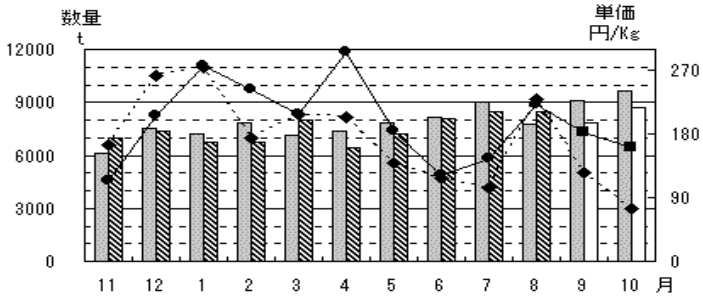



| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| レタス | １７年 | ８，４１０ | １３０ | 116 | 110 | 162 | 茨城 63% |
| | １８年 | ８，６８１ | １０６ | 114 | 113 | 91 | 長野 25% |
| | １９年 | ８，７２６ | １５８ | 189 | 155 | 133 | 栃木 6% |
| | ２０年 | ８，４０９ | １６１ | 212 | 158 | 123 | 群馬 4% |
| | ２１年 | ９，６７０ | ７５ | 62 | 82 | 85 | （愛知産比率 0%） |
| | ５ヵ年平均 | ８，７７９ | １２５ | 137 | 123 | 118 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | ８，７００ | １６０ | 180 | 160 | 140 | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

茨城、長野からの入荷が中心となる。茨城は高温、干ばつの影響から定植が遅れ、生育が１週間程度遅れている。長野は高温の影響により結球が悪く切り上がりが早まる見込み。

入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。

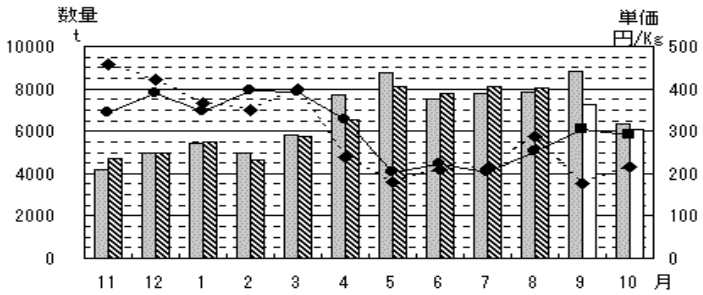



| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| きゅうり | １７年 | ５，８５２ | ２８３ | 217 | 243 | 411 | 埼玉 29% |
| | １８年 | ６，７１４ | １８２ | 181 | 211 | 154 | 群馬 19% |
| | １９年 | ６，２４５ | ２７８ | 260 | 269 | 308 | 茨城 15% |
| | ２０年 | ６，４８５ | ２９０ | 351 | 251 | 264 | 福島 11% |
| | ２１年 | ６，３４９ | ２１６ | 159 | 265 | 233 | （愛知産比率 -%） |
| | ５ヵ年平均 | ６，３２９ | ２４９ | 234 | 247 | 270 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | ６，１００ | ２９０ | 300 | 290 | 280 | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

関東産地中心の入荷となる。埼玉、群馬とも高温、干ばつの影響から生育不良が見られる。茨城は高温、干ばつの影響で生育がやや遅れ傾向である。福島も高温、干ばつで生育不良。

入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。



## 名古屋市中央卸売市場

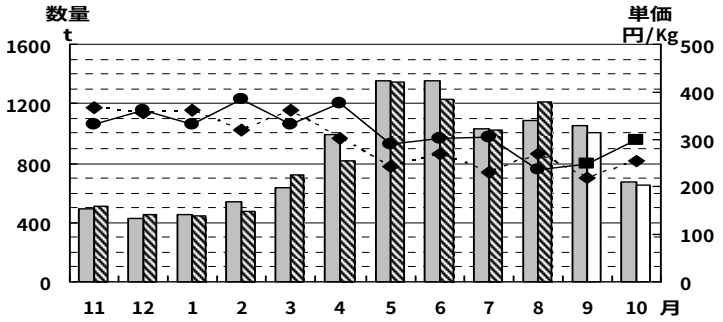
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| なす | １７年 | ８３４ | ２３６ | 237 | 210 | 277 | 愛知 29% |
| | １８年 | ７８３ | ２６６ | 294 | 267 | 245 | 熊本 19% |
| | １９年 | ７４４ | ２７９ | 282 | 264 | 294 | 徳島 17% |
| | ２０年 | ７３６ | ２６９ | 326 | 256 | 235 | 山梨 15% |
| | ２１年 | ６７５ | ２５３ | 150 | 314 | 366 | |
| | ５ヵ年平均 | ７５５ | ２６０ | 260 | 260 | 281 | |
| | ２２年見通し | ６５０ | ３００ | 280 | 300 | 320 | |

**前年及び本年の入荷量・価格の動き**

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

千両なすは、愛知では高温による花落ち等品質低下が見られた。促成ものの産地が中旬移行に入荷するが生育状況は同様で、数量の増加は見込めない。長なすは愛知で不作傾向だが、熊本は平年並みを見込む。
入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。

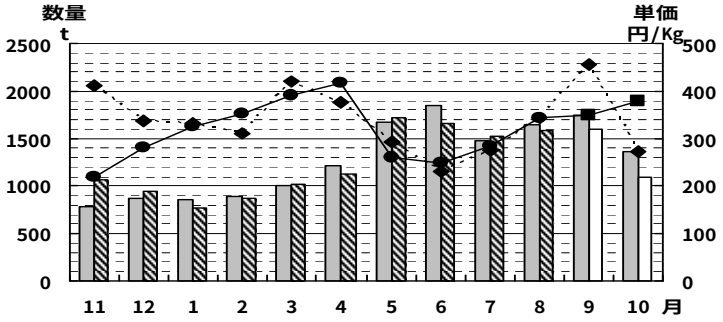



| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| トマト | １７年 | １，１９４ | ３６６ | 484 | 323 | 329 | 岐阜 37% |
| | １８年 | １，２６４ | ３７５ | 504 | 345 | 303 | 愛知 15% |
| | １９年 | １，００３ | ４４８ | 382 | 451 | 552 | 千葉 15% |
| | ２０年 | １，１０８ | ３８７ | 464 | 417 | 311 | 北海道 8% |
| | ２１年 | １，３６３ | ２７２ | 245 | 276 | 301 | |
| | ５ヵ年平均 | １，１８６ | ３６４ | 412 | 356 | 351 | |
| | ２２年見通し | １，１００ | ３８０ | 400 | 380 | 350 | |

**前年及び本年の入荷量・価格の動き**

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は岐阜中心で、愛知、千葉。北海道、東北は終了間近。愛知、岐阜の夏秋産は高温から入荷量が減少傾向で、関東の抑制ものも、干ばつで花落ちがあり、入荷遅れや入荷量の減少がある見込み。
入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。

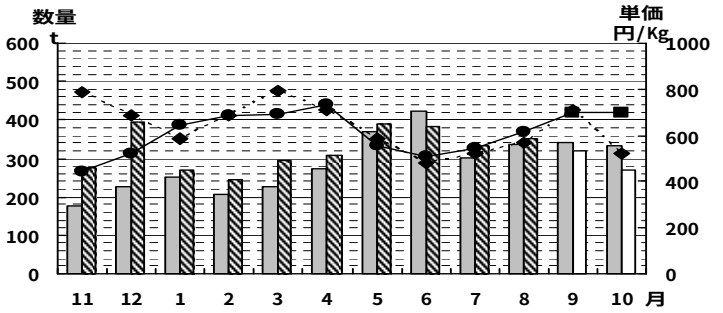



| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ミニトマト | １７年 | ２４４ | ６８６ | 705 | 693 | 660 | 北海道 50% |
| | １８年 | ２４５ | ８４９ | 1,045 | 926 | 627 | 愛知 25% |
| | １９年 | ２６１ | ７７１ | 709 | 775 | 841 | 熊本 10% |
| | ２０年 | ２８３ | ６４９ | 672 | 751 | 527 | |
| | ２１年 | ３３４ | ５２０ | 527 | 544 | 494 | |
| | ５ヵ年平均 | ２７３ | ６８３ | 716 | 726 | 621 | |
| | ２２年見通し | ２７０ | ７００ | 700 | 700 | 700 | |

**前年及び本年の入荷量・価格の動き**

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は北海道中心で他に愛知、熊本。梅雨明け後の高温・干ばつで花落ち・落果が見られ、入荷量は減少する見込み。色付き不足で小玉傾向。高温の影響はしばらく続く。
入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。



**東京都中央卸売市場**

※「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

## なす

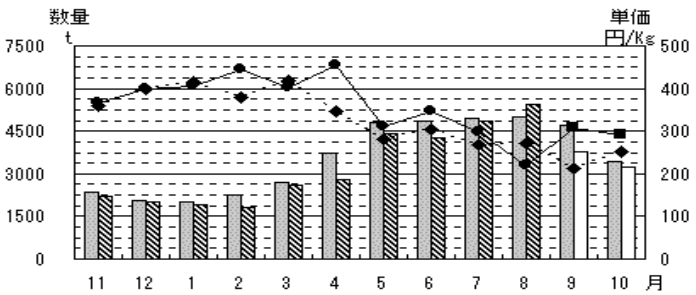
| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| なす | １７年 | ４，０５０ | ２３９ | 269 | 211 | 248 | 高知 29% |
| | １８年 | ３，６７９ | ２８６ | 298 | 305 | 260 | 栃木 24% |
| | １９年 | ３，７４９ | ３０８ | 359 | 294 | 274 | 群馬 13% |
| | ２０年 | ４，１０７ | ２４７ | 348 | 215 | 197 | 茨城 13% |
| | ２１年 | ３，４３５ | ２２１ | 173 | 307 | 313 | （愛知産比率 0%） |
| | ５ヵ年平均 | ３，８０４ | ２６０ | 292 | 264 | 256 | |
| | ２２年見通し | ３，２５０ | ２９０ | 300 | 290 | 280 | |

**前年及び本年の入荷量・価格の動き**

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

関東産地に加え、西南暖地からの入荷が始まる。栃木、茨城、群馬は高温と干ばつの影響で生育がやや遅れ傾向で害虫の発生が見られる。高知は高温の影響で着果が少ない傾向が見られる。

入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。




## トマト

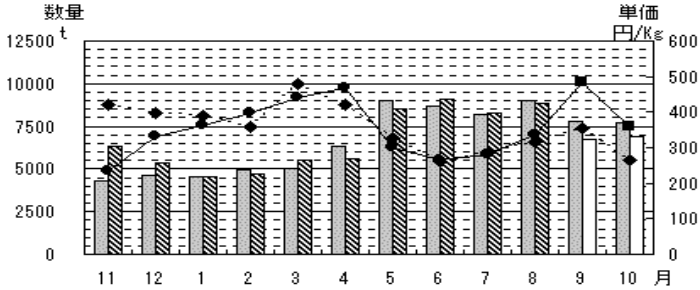
| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| トマト | １７年 | ６，３９９ | ３２８ | 433 | 279 | 312 | 千葉 23% |
| | １８年 | ７，１００ | ３４３ | 440 | 333 | 274 | 茨城 20% |
| | １９年 | ５，８１７ | ４２８ | 357 | 443 | 507 | 青森 14% |
| | ２０年 | ６，３２７ | ３７３ | 444 | 394 | 302 | 福島 12% |
| | ２１年 | ７，６８１ | ２６６ | 239 | 269 | 294 | （愛知産比率 5%） |
| | ５ヵ年平均 | ６，６６５ | ３４３ | 379 | 339 | 332 | |
| | ２２年見通し | ６，９００ | ３６０ | 380 | 350 | 350 | |

**前年及び本年の入荷量・価格の動き**

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

東北産地は終盤を迎え、関東産地からの入荷が中心となる。千葉の生育は一部に高温による着果不良がある。茨城の生育は高温により１週間程度遅れている。青森、福島は高温の影響により着果数が少ない。

入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。




## ミニトマト

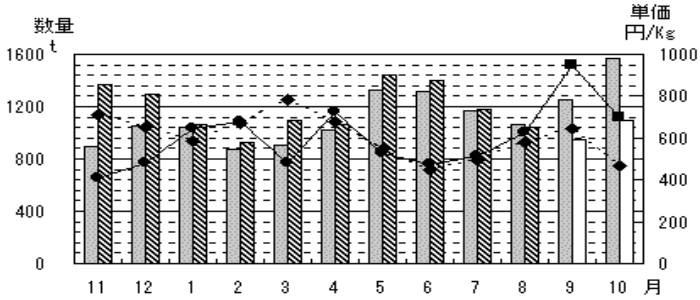
| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ミニトマト | １７年 | １，０９０ | ６０２ | 693 | 589 | 549 | 茨城 26% |
| | １８年 | １，１４６ | ７３４ | 950 | 792 | 530 | 千葉 17% |
| | １９年 | １，１５９ | ７１７ | 663 | 728 | 761 | 愛知 12% |
| | ２０年 | １，２６３ | ６１８ | 608 | 708 | 549 | 北海道 12% |
| | ２１年 | １，５７０ | ４６６ | 486 | 478 | 441 | （愛知産比率 12%） |
| | ５ヵ年平均 | １，２４６ | ６１７ | 665 | 648 | 558 | |
| | ２２年見通し | １，１００ | ７００ | 720 | 700 | 680 | |

**前年及び本年の入荷量・価格の動き**

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

北海道は終盤を迎え、関東産地と愛知からの入荷が増えてくる。茨城、千葉の生育は高温、干ばつの影響から着果不良や裂果が見られる。愛知は高温による裂果が見られるが生育は概ね順調である。

入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。



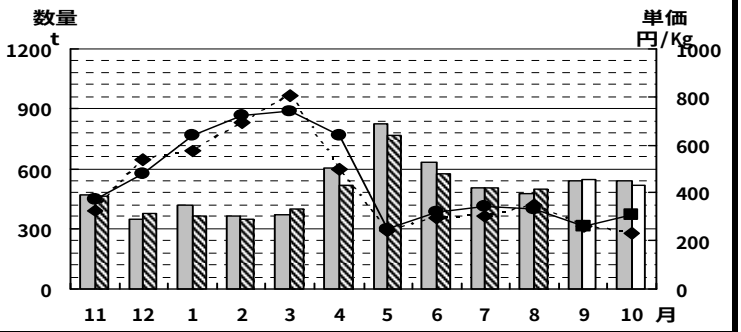
## 名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ピーマン | １７年 | ５９６ | ２８２ | 261 | 278 | 305 | 岩手 47% |
| | １８年 | ５６３ | ２８９ | 347 | 315 | 235 | 茨城 26% |
| | １９年 | ５１０ | ３５２ | 330 | 351 | 375 | 北海道 12% |
| | ２０年 | ５２４ | ３０６ | 257 | 348 | 313 | |
| | ２１年 | ５４１ | ２２９ | 139 | 224 | 368 | （愛知産比率 0%） |
| | ５ヵ年平均 | ５４７ | ２９１ | 267 | 302 | 318 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | ５２０ | ３１０ | 350 | 280 | 300 | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

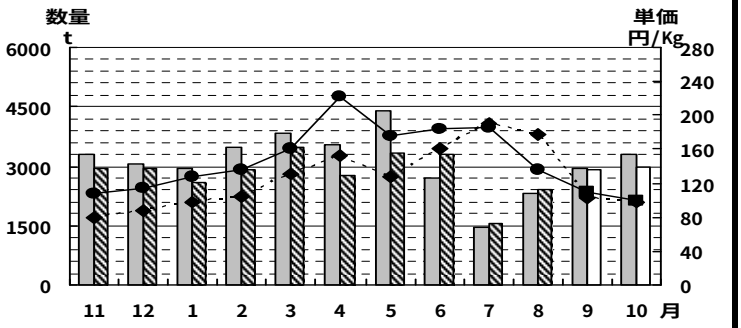
産地は岩手、茨城、北海道の夏秋産地から、促成ものの西南暖地に移行する。梅雨明け後の高温により生育は不安定で、数量は減少する見込み。
入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。




| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ばれいしょ | １７年 | ３，６９３ | ８７ | 88 | 86 | 87 | 北海道 100% |
| | １８年 | ３，６３２ | ９０ | 95 | 90 | 86 | 愛知 0% |
| | １９年 | ３，５５３ | ７４ | 74 | 71 | 76 | 群馬 0% |
| | ２０年 | ３，５１６ | ７４ | 74 | 76 | 72 | |
| | ２１年 | ３，２９２ | ９７ | 105 | 111 | 83 | （愛知産比率 0%） |
| | ５ヵ年平均 | ３，５３７ | ８４ | 87 | 86 | 81 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | ３，０００ | １００ | 100 | 100 | 100 | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

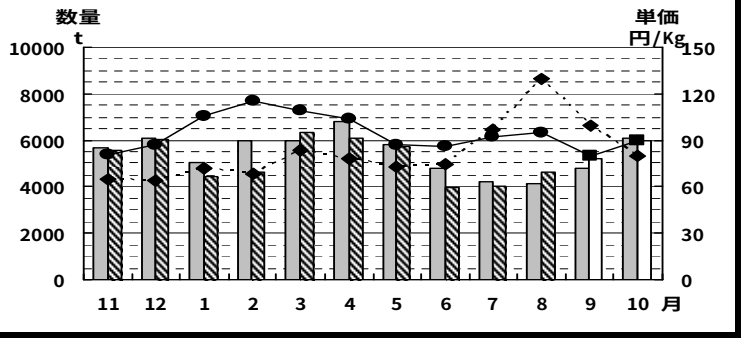
産地は北海道中心。定植の遅れと播種時の多雨から小玉傾向で、平年になく少ない収穫量が見込まれる。高温から腐敗も発生しているため、下級品も多くなる見込み。
入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。




| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| たまねぎ | １７年 | ５，５４８ | ７２ | 76 | 72 | 69 | 北海道 99% |
| | １８年 | ５，３６７ | ７９ | 85 | 76 | 75 | アメリカ 1% |
| | １９年 | ６，０７０ | ６１ | 62 | 60 | 62 | 中国 0% |
| | ２０年 | ６，０３４ | ６９ | 73 | 67 | 67 | 兵庫 0% |
| | ２１年 | ６，１０８ | ８０ | 82 | 82 | 78 | |
| | ５ヵ年平均 | ５，８２５ | ７２ | 75 | 71 | 70 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | ６，０００ | ９０ | 90 | 90 | 90 | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は北海道中心。作付面積は前年並みで、早生種の割合が増えている。梅雨明け後の高温から産地により生育にばらつきがあり、全体的に小玉傾向。業務需要向けに中国の大玉の輸入が増える見込み。
入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。



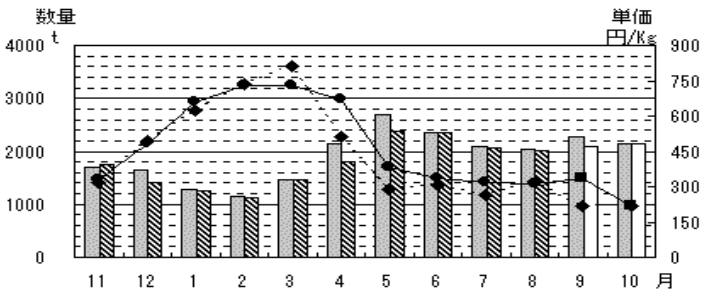
## 東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ピーマン | １７年 | ２，０７９ | ２３２ | 221 | 212 | 263 | 茨城 76% |
| | １８年 | ２，１９１ | ２４９ | 317 | 236 | 205 | 岩手 13% |
| | １９年 | ２，０５４ | ３１７ | 289 | 311 | 357 | 福島 4% |
| | ２０年 | ２，１３９ | ２８５ | 245 | 356 | 265 | 青森 4% |
| | ２１年 | ２，１５１ | ２２０ | 121 | 222 | 337 | （愛知産比率 -%） |
| | ５ヵ年平均 | ２，１２３ | ２６０ | 239 | 267 | 285 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | ２，１５０ | ２２０ | 200 | 220 | 230 | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

茨城と東北産地中心の入荷となる。茨城の生育は高温の影響で出荷量が少ないが、中旬には回復される見込み。東北産地は終盤を迎えるなか、岩手、福島は気温の低下とともに露地物からハウス物へ切り替わる。入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。

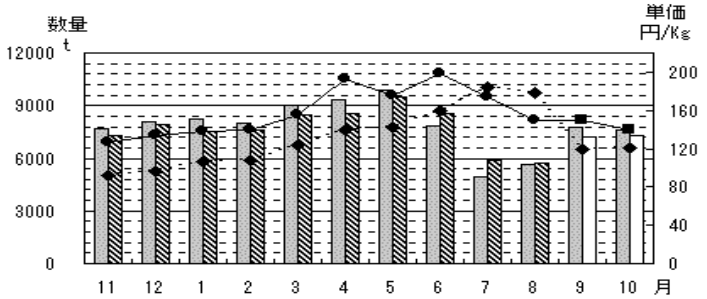



| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ばれいしょ | １７年 | ６，８４７ | １０２ | 108 | 101 | 97 | 北海道 100% |
| | １８年 | ７，０７８ | １０９ | 112 | 108 | 108 | 青森 0% |
| | １９年 | ８，５３６ | ８４ | 81 | 85 | 86 | |
| | ２０年 | ８，１３３ | ９３ | 94 | 94 | 92 | |
| | ２１年 | ７，６２０ | １２１ | 118 | 120 | 123 | （愛知産比率 0%） |
| | ５ヵ年平均 | ７，６４３ | １０１ | 102 | 101 | 101 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | ７，２６０ | １４０ | 150 | 140 | 130 | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

北海道からの入荷が中心となる。北海道は高温の影響から玉付きが悪く、小玉傾向で空洞果の発生など正品率が低い状況が見られる。

入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。

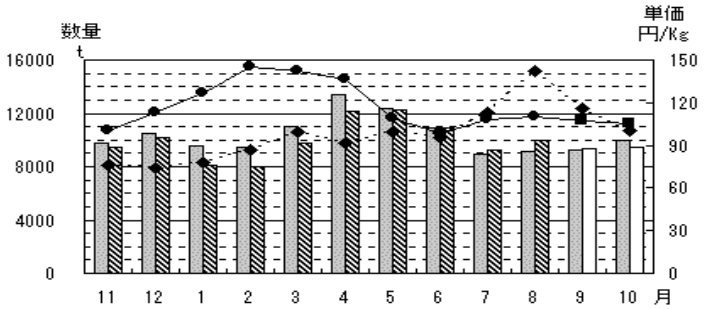



| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| たまねぎ | １７年 | １０，５４５ | ８５ | 87 | 85 | 83 | 北海道 95% |
| | １８年 | １０，３１２ | ８８ | 89 | 88 | 87 | 中国 4% |
| | １９年 | １２，１３７ | ６８ | 67 | 68 | 69 | 米国 1% |
| | ２０年 | １１，４８４ | ７９ | 80 | 80 | 78 | |
| | ２１年 | ９，９５９ | １００ | 101 | 100 | 99 | （愛知産比率 -%） |
| | ５ヵ年平均 | １０，８８７ | ８３ | 84 | 83 | 83 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | ９，５００ | １０５ | 110 | 100 | 100 | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

北海道からの入荷が中心となる。中晩生種に切り替わるが全道的に小玉傾向で出荷量が少ない傾向。大玉比率が低いことから２L以上の引き合いが強くなると見込まれる。

入荷量は少なかった前年をやや下回り、価格は高かった前年をやや上回る見込み。



## 名古屋市中央卸売市場

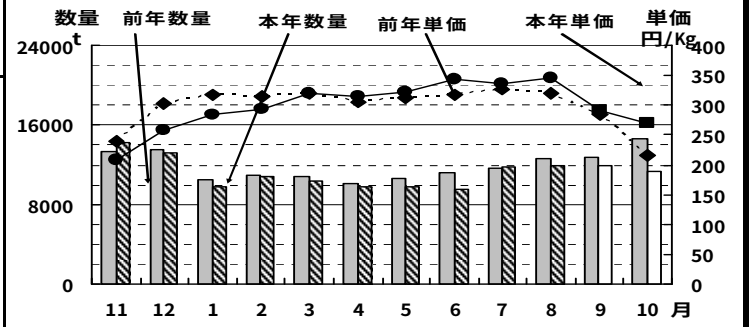
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 果実計 | １７年 | １７，４７２ | ２１１ | 240 | 209 | 189 | 三重 16% |
| | １８年 | １４，７９１ | ２６１ | 276 | 253 | 255 | 長野 14% |
| | １９年 | １５，１８３ | ２７１ | 300 | 264 | 249 | フィリピン 14% |
| | ２０年 | １５，８７３ | ２３３ | 244 | 235 | 221 | 和歌山 13% |
| | ２１年 | １４，５７９ | ２１６ | 235 | 213 | 201 | |
| | ５ヵ年平均 | １５，５８０ | ２３８ | ― | ― | ― | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | １１，４００ | ２７０ | ― | ― | ― | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

春の天候不順による花落ち、着果不良が出ている。また梅雨明け後高温が続いた影響で、果樹は小玉傾向で、日焼け果も出て下級品増える見込み。

入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。

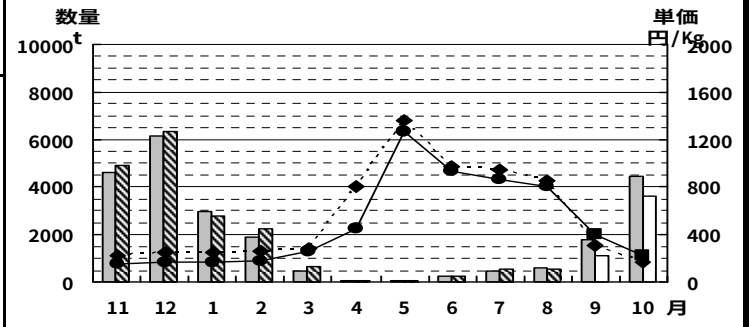



| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| みかん | １７年 | ４，９３２ | １６３ | 212 | 160 | 138 | 三重 46% |
| | １８年 | ３，９４８ | ２４７ | 285 | 233 | 234 | 熊本 19% |
| | １９年 | ４，４４７ | ２１６ | 272 | 212 | 179 | 静岡 12% |
| | ２０年 | ４，８４５ | １８５ | 195 | 180 | 182 | 和歌山 10% |
| | ２１年 | ４，４５０ | １６７ | 193 | 160 | 156 | |
| | ５ヵ年平均 | ４，５２４ | １９４ | ― | ― | ― | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | ３，６００ | ２２０ | 220 | 220 | 220 | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は三重、熊本、静岡の露地物中心。４月の低温で生育は遅れ、梅雨明け後の高温で日焼け果も出ている。裏年で小玉傾向、三重、静岡とも不作であることから、入荷量の不足が見込まれる。

入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。

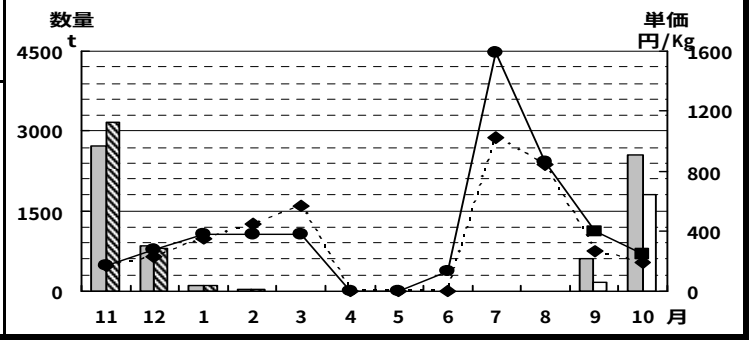



| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| かき | １７年 | ２，７９９ | １８６ | 179 | 175 | 195 | 和歌山 59% |
| | １８年 | ２，５４９ | ２３０ | 224 | 225 | 238 | 岐阜 17% |
| | １９年 | ２，２８３ | ２５４ | 273 | 228 | 262 | 三重 11% |
| | ２０年 | ２，５４９ | １９９ | 216 | 211 | 180 | 愛知 8% |
| | ２１年 | ２，５６８ | １８６ | 193 | 192 | 178 | |
| | ５ヵ年平均 | ２，５４９ | ２１０ | ― | ― | ― | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | １，８００ | ２５０ | 300 | 250 | 230 | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は和歌山、岐阜、三重、愛知。４月の低温による着花不足で不作傾向。カメムシと梅雨明け後の高温による日焼け果の発生で収穫は前年に比べて相当減少し、下位等級増える見込み。

入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。



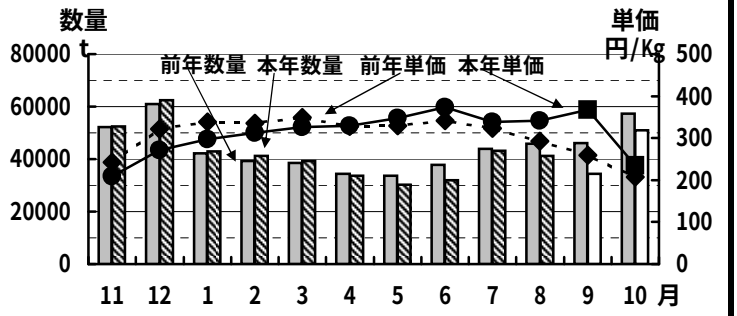
## 東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 前年主要産地（%）（愛知産比率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 果実計 | １７年 | ６０，７３９ | １９６ | 214 | 195 | 185 | 熊本 10% |
| | １８年 | ５０，２６９ | ２６１ | 264 | 267 | 261 | 和歌山 10% |
| | １９年 | ５２，５６５ | ２６４ | 288 | 262 | 245 | フィリピン 9% |
| | ２０年 | ５６，６９２ | ２２９ | 239 | 229 | 220 | 青森 8% |
| | ２１年 | ５７，２８１ | ２０７ | 225 | 205 | 194 | (愛知産比率 2%) |
| | ５ヵ年平均 | ５５，５０９ | ２３０ | ― | ― | ― | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | ５１，０００ | ２３４ | ― | ― | ― | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

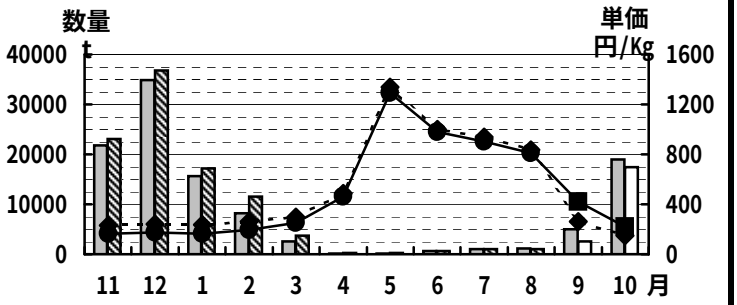
みかん、かき、りんご中心に入荷。りんごは「つがる」に「ｼﾞｮﾅｺﾞｰﾙﾄﾞ」「ふじ」が加わっての入荷となる。「つがる」などの早生品種は夏場の高温干ばつの影響で入荷が少なく着色遅れ、小玉傾向である。果物全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回ると見込まれる。




| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| みかん | １７年 | １９，８４５ | １４５ | 185 | 149 | 125 | 熊本 30% |
| | １８年 | １４，５７７ | ２２９ | 262 | 221 | 219 | 長崎 22% |
| | １９年 | １７，９３５ | １９６ | 303 | 200 | 171 | 愛媛 19% |
| | ２０年 | １７，８０５ | １６５ | 190 | 158 | 152 | 佐賀 17% |
| | ２１年 | １８，９４７ | １４９ | 184 | 142 | 132 | (愛知産比率 4%) |
| | ５ヵ年平均 | １７，８２２ | １７４ | 222 | 171 | 157 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | １７，４５０ | ２２０ | 240 | 220 | 200 | |

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

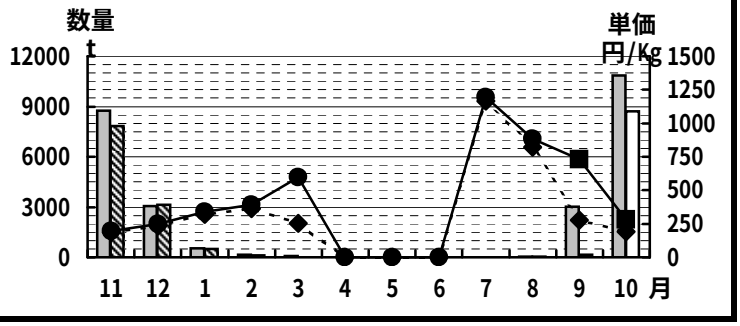
熊本中心に長崎、佐賀などの九州産地や愛媛などから「極早生」中心に入荷する。夏場の高温干ばつの影響で着色が遅れ、果実は小玉傾向となっている。また日焼果などの発生も例年になく多い。
入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回ると見込まれる。




| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| かき | １７年 | １０，７４９ | １８５ | 174 | 173 | 202 | 和歌山 42% |
| | １８年 | ９，１０２ | ２４５ | 222 | 238 | 266 | 奈良 21% |
| | １９年 | ９，１６５ | ２５２ | 273 | 237 | 252 | 新潟 11% |
| | ２０年 | １０，０４９ | ２１９ | 231 | 224 | 208 | 愛知 8% |
| | ２１年 | １０，８５６ | １９３ | 190 | 198 | 192 | (愛知産比率 8%) |
| | ５ヵ年平均 | ９，９８４ | ２１７ | 216 | 212 | 222 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | ２２年見通し | ８，７００ | ２８０ | 330 | 280 | 250 | |

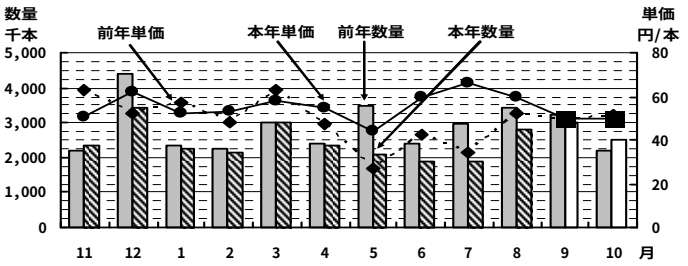
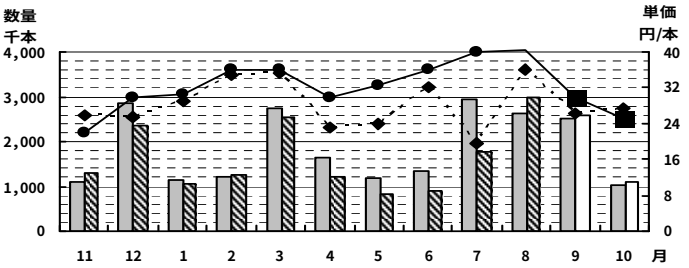
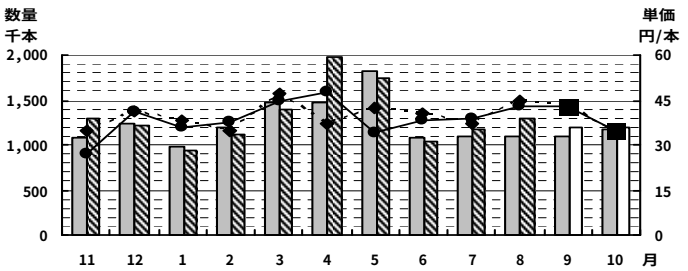
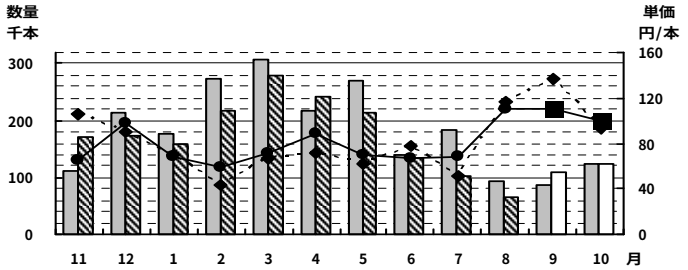
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

和歌山中心に奈良、新潟、愛知から入荷する。前半は「刀根早生」後半からは「平核無」中心に入荷。各産地とも春先の凍霜害で着果が少ない上、夏場の高温干ばつにより生育及び着色が遅れ、小玉傾向。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回ると見込まれる。

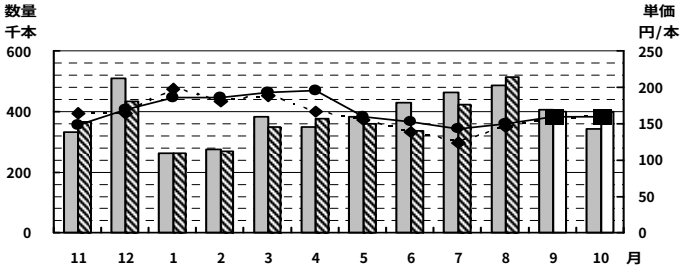
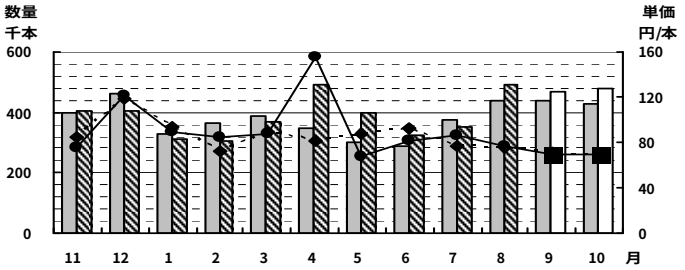
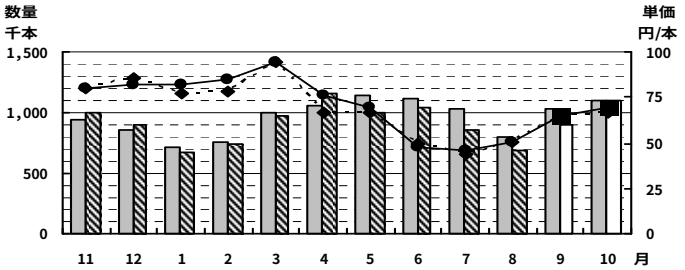
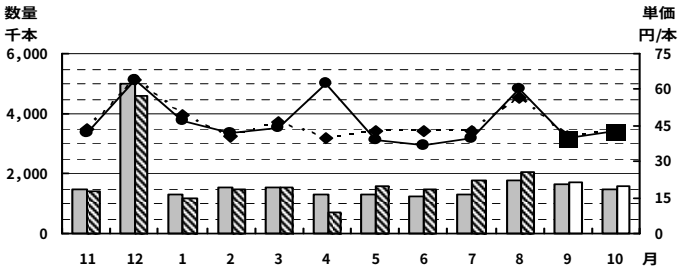


# 切　花　・　鉢　花　の　１０　月　の　見　通　し

**切　花（愛知名港花き地方卸売市場　　９月２７日現在）**　　単位：千本、円／本

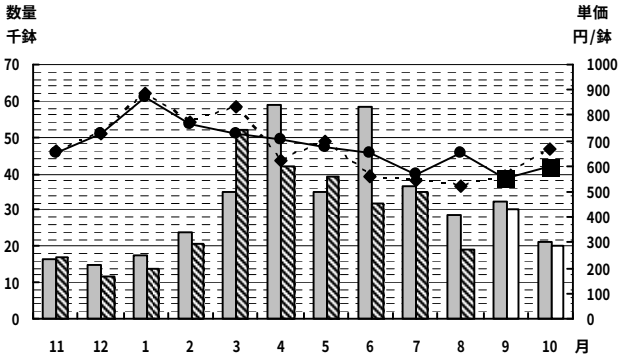
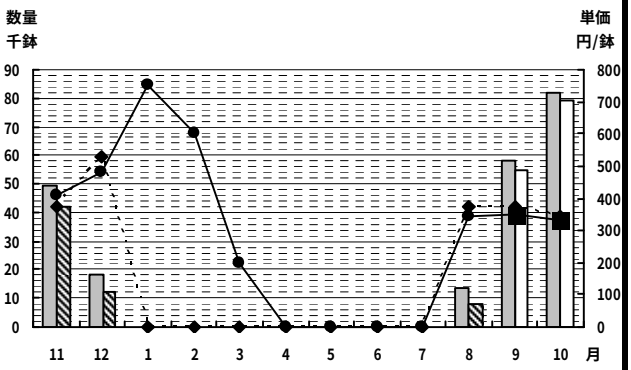
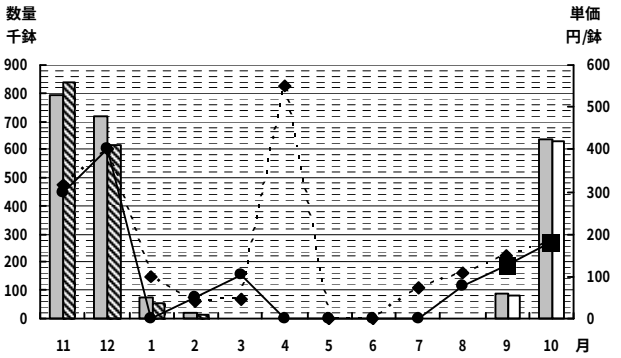
| 品目 | 区分／実績等 | | 入荷量 | 卸売価格 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
|---|---|---|---|---|---|
| 輪ぎく | 実績 | １８年 | ３，０４０ | ３６ |  |
| | | １９年 | ２，８０９ | ６０ | |
| | | ２０年 | ２，５８５ | ５１ | |
| | | ２１年 | ２，１８５ | ５１ | |
| | ４ヶ年平均 | | ２，６５５ | ４９ | |
| | ２２年見通し | | ２，５００ | ５０ | |
| | 概要 | 愛知、三重、長野を中心に入荷。高冷地は徐々に終盤に向かい、愛知、三重等は秋系の品種に切り替わる。昨年まで10月は「精の波」が多かったが、今年は「精の一世」「特馬」が増加。今月中は品種の多い状態が続き、安定した入荷を見込む。品種の切り替わりまで堅調だが、秋系の入荷が集中すれば苦しい展開となろう。 | | | |
| 小ぎく | 実績 | １８年 | １，３０５ | １６ |  |
| | | １９年 | １，３２５ | ３６ | |
| | | ２０年 | １，２７０ | ２３ | |
| | | ２１年 | １，０３２ | ２８ | |
| | ４ヶ年平均 | | １，２３３ | ２６ | |
| | ２２年見通し | | １，１００ | ２５ | |
| | 概要 | 愛知、長野、奈良等から入荷。中山間産地は徐々に終盤に向かい、彼岸出荷物がやや遅れて中旬辺りまで出荷される。地物はこれからピークを向かえる。全体の動きとしては急激な冷え込みで大量出荷とはならず、だらだらとした出荷となる見込み。山間部産地の終了とともに価格はやや高くなる。 | | | |
| カーネーション | 実績 | １８年 | １，３４３ | ３８ |  |
| | | １９年 | １，５１８ | ３６ | |
| | | ２０年 | １，３０４ | ３７ | |
| | | ２１年 | １，１８１ | ３４ | |
| | ４ヶ年平均 | | １，３３６ | ３６ | |
| | ２２年見通し | | １，２００ | ３５ | |
| | 概要 | 長野、北海道、愛知を中心に入荷。夏場の高温だった影響で全体的に前進傾向で、上位等級の比率も下がっている。愛知産の出荷も始まるが、短幹であるため、高冷地産中心の取引で、品薄になると思われる。特に葬儀、婚礼等の業務向けの色目の引合いは強く、ピンクは大輪、スプレー共に堅調な動きとなる見込み。 | | | |
| かすみそう | 実績 | １８年 | １５５ | ８５ |  |
| | | １９年 | １５８ | １０５ | |
| | | ２０年 | １２６ | １２２ | |
| | | ２１年 | １２３ | ９３ | |
| | ４ヶ年平均 | | １４１ | １０１ | |
| | ２２年見通し | | １２５ | １００ | |
| | 概要 | 長野、北海道、福島、熊本、和歌山から入荷。高冷地物は減少し下旬で終了。<br>夏場に高温が続いたことから、暖地産の入荷もあまり多くは見込めず、全体的に量は少ない。価格はブライダル需要もあることから堅調な動きとなる見込み。 | | | |

単位：千本、円／本

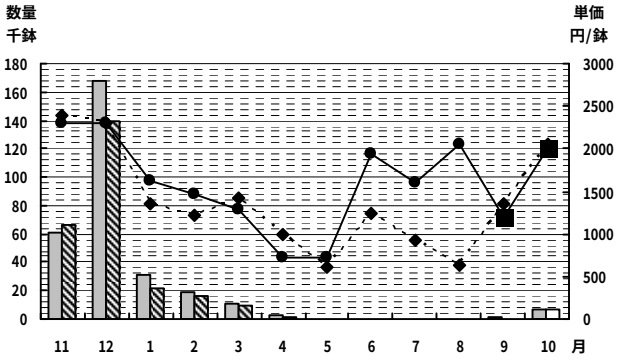
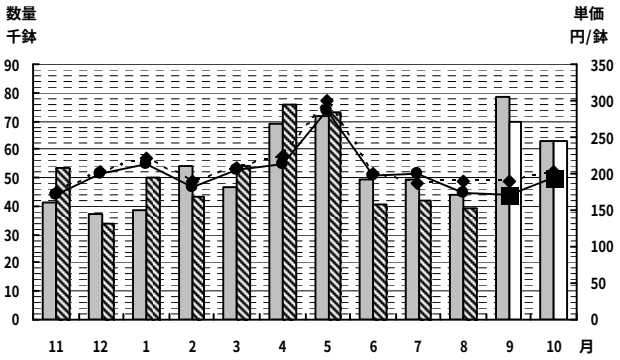
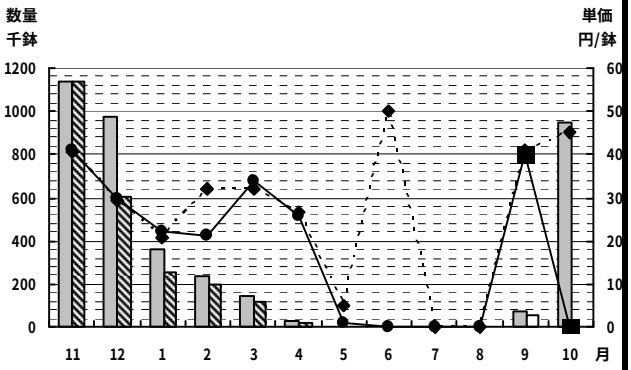
| 品目 | 区分／実績等 | | 入荷量 | 卸売価格 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
|---|---|---|---|---|---|
| ゆり | 実績 | １８年 | ４２７ | １６９ |  |
| | | １９年 | ４６７ | １６４ | |
| | | ２０年 | ４０５ | １６５ | |
| | | ２１年 | ３４４ | １６０ | |
| | ４ヶ年平均 | | ４１１ | １６５ | |
| | ２２年見通し | | ４００ | １６０ | |
| | 概要 | | てっぽうゆりは新てっぽうから球根てっぽうに切り替わる時期で、量は少なく出始めの品質は低い。オリエンタルは新潟、岐阜が中心で高冷地産は遅れており、前月下旬分が今月上旬の出荷となる見込み。ＬＡは彼岸需要も終わり、高知産も始まるが入荷は少なめ。全般的に量は少なめで、価格は堅調に推移する見込み。 | | |
| 洋らん | 実績 | １８年 | ４７２ | ７３ |  |
| | | １９年 | ５２６ | ７９ | |
| | | ２０年 | ５００ | ７５ | |
| | | ２１年 | ４２６ | ６８ | |
| | ４ヶ年平均 | | ４８１ | ７４ | |
| | ２２年見通し | | ４８０ | ７０ | |
| | 概要 | | 愛知、静岡、鹿児島と輸入物が入荷。国内産は前月中旬まで続いた高温の影響が残っており、質、量共に不安定な入荷となる品目も出てくる。輸入物は例年並みに比較的安定した入荷と思われる。全体的には量、価格ともに平年並みとなる見込み。 | | |
| ばら | 実績 | １８年 | １，２１１ | ６７ |  |
| | | １９年 | １，１２４ | ７６ | |
| | | ２０年 | １，１４１ | ７６ | |
| | | ２１年 | １，０９５ | ６７ | |
| | ４ヶ年平均 | | １，１４３ | ７１ | |
| | ２２年見通し | | １，１００ | ７０ | |
| | 概要 | | 愛知、岐阜、三重、和歌山を中心に入荷。暖地物も徐々に品質は向上に向かう。夏場の高温でスプレーバラを始め、かなりの影響が出ており、出荷量は例年より少ない見込み。価格は、上旬ごろからブライダル等々で需要が高まることから堅調な動きとなる見込み。 | | |
| 枝もの | 実績 | １８年 | １，７９５ | ４３ |  |
| | | １９年 | １，８３２ | ４５ | |
| | | ２０年 | １，７０５ | ４４ | |
| | | ２１年 | １，４５８ | ４３ | |
| | ４ヶ年平均 | | １，６９７ | ４４ | |
| | ２２年見通し | | １，６００ | ４３ | |
| | 概要 | | 長野、岐阜、静岡を中心として、季節感のあるつるうめ、野ばら等の実物が入荷。大きな花展の開催が減っており、市場の引きは弱まっているが、ブライダル需要により、月の前半はグリーン物や実物の引合いが強くなる見込み。 | | |

## 鉢　花（愛知豊明花き地方卸売市場　　９月１日現在）

単位：鉢、円／鉢

| 品目 | 区分／実績等 | | 入荷量 | 卸売価格 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
|---|---|---|---|---|---|
| ドラセナ類 | 実績 | １７年 | ３６，９２６ | ７２９ |  |
| | | １８年 | ３０，０２１ | ８３４ | |
| | | １９年 | ３５，７５１ | ６８６ | |
| | | ２０年 | ２５，１１６ | ７２７ | |
| | | ２１年 | ２１，４０６ | ６６６ | |
| | ５ヶ年平均 | | ２９，８４４ | ７３１ | |
| | ２２年見通し | | ２０，０００ | ６００ | |
| | 概要 | 近年の相場下落から生産量が減少のため、入荷量は減少か。入荷は定番のコンシ、マッサン、ユッカが中心となる。また、耐寒性のあるアオドラ、ヒロバの入荷も始まる。<br>昨年１０月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、１位愛知（５５％）、２位鹿児島（１４％）、３位沖縄（１２％）となっている。 | | | |
| シャコバサボテン | 実績 | １７年 | １００，１６８ | ４１１ |  |
| | | １８年 | ９２，８９５ | ４２０ | |
| | | １９年 | ９９，２８４ | ４０６ | |
| | | ２０年 | ７７，８３２ | ３８５ | |
| | | ２１年 | ８１，９４７ | ３４４ | |
| | ５ヶ年平均 | | ９０，４２５ | ３９５ | |
| | ２２年見通し | | ７９，０００ | ３３０ | |
| | 概要 | 生産量は昨年並みだが、残暑で入荷量は遅れ気味でやや減少か。<br>昨年１０月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、１位愛知（６５％）、２位埼玉（２３％）、３位茨城（１０％）となっている。 | | | |
| シクラメン | 実績 | １７年 | ６６３，１５４ | １９２ |  |
| | | １８年 | ６１４，５４３ | １８５ | |
| | | １９年 | ５６９，３９３ | １８５ | |
| | | ２０年 | ５９１，０７８ | １９７ | |
| | | ２１年 | ６３８，７１５ | １８０ | |
| | ５ヶ年平均 | | ６１５，３７７ | １８８ | |
| | ２２年見通し | | ６３０，０００ | １８０ | |
| | 概要 | 入荷量は昨年並みか。５号鉢はやや減少傾向であるが、４号鉢が増加か。ガーデンシクラメンはやや増加か。<br>昨年１０月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、１位長野（２９％）、２位愛知（２３％）、３位北海道（１７％）となっている。 | | | |

単位：鉢、円／鉢

| 品目 | 区分／実績等 | | 入荷量 | 卸売価格 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
|---|---|---|---|---|---|
| シンビジウム | 実績 | １７年 | １４，４６１ | ２，３７２ |  |
| | | １８年 | １１，１９１ | ２，３７９ | |
| | | １９年 | １１，６８３ | １，８０２ | |
| | | ２０年 | ９，８０７ | ２，２２７ | |
| | | ２１年 | ７，３６９ | ２，０６０ | |
| | ５ヶ年平均 | | １０，９０２ | ２，１８３ | |
| | ２２年見通し | | ７，０００ | ２，０００ | |
| | 概要 | 入荷量は昨年並みか。残暑で山上げ地の温度が下がらず、成長が遅れ気味で通常９月入荷のものが１０月スタート。<br>昨年１０月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、１位愛知（４７％）、２位高知（１９％）、３位静岡（１４％）となっている。 | | | |
| カランコエ | 実績 | １７年 | ６３，３２８ | １８５ |  |
| | | １８年 | ６２，８２８ | １８６ | |
| | | １９年 | ５４，４８４ | １８９ | |
| | | ２０年 | ６１，４７５ | ２０２ | |
| | | ２１年 | ６３，１４８ | ２０２ | |
| | ５ヶ年平均 | | ６１，０５３ | １９３ | |
| | ２２年見通し | | ６３，０００ | １９５ | |
| | 概要 | 入荷量は昨年並みか。昨年同様、２．５号～４号鉢を中心に、５～６号鉢の寄せ植えも入荷。涼しくなれば安定した動きとなりそう。<br>昨年１０月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、１位埼玉（５３％）、２位岐阜（３４％）、３位茨城（７％）となっている。 | | | |
| パンジー | 実績 | １７年 | １，０８５，８８１ | ４８ |  |
| | | １８年 | １，１２７，３６７ | ４２ | |
| | | １９年 | ６５４，９５０ | ５４ | |
| | | ２０年 | ８６９，９０３ | ４９ | |
| | | ２１年 | ９４３，２８２ | ４５ | |
| | ５ヶ年平均 | | ９３６，２７７ | ４７ | |
| | ２２年見通し | | ９５０，０００ | ４０ | |
| | 概要 | 夏場の天候が良かったことから、発芽率が高く、入荷量は多そう。ただ、今後の残暑次第で需給のバランスに影響がでるかもしれない。<br>昨年１０月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、１位愛知（３９％）、２位奈良（１９％）、３位長野（１３％）となっている。 | | | |

# 主要農林水産物の輸出入実績（2010年）

1　輸入実績

| 品　　名 | 7　月 | | | | | | 7　月　ま　で　の　累　計 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 数量 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 単価 | 前年比 | 数量 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 単価 | 前年比 |
| | トン | % | 千円 | % | 円／kg | % | トン | % | 千円 | % | 円／kg | % |
| 野菜（生鮮・冷蔵） | 45,461 | 119.1 | 4,210,472 | 113.7 | 93 | 95.5 | 423,894 | 127 | 40,826,797 | 132 | 96 | 92.4 |
| トマト | 191 | 80.3 | 52,275 | 90.0 | 273 | 112.2 | 1,816 | 186 | 684,093 | 247 | 377 | 138.5 |
| たまねぎ | 19,840 | 115.0 | 651,223 | 112.4 | 33 | 97.7 | 179,377 | 164 | 8,229,062 | 199 | 46 | 120.9 |
| にんにく | 1,983 | 102.1 | 393,907 | 196.5 | 199 | 192.4 | 10,565 | 93 | 1,726,915 | 187 | 163 | 156.5 |
| ねぎ | 4,290 | 139.7 | 390,764 | 108.0 | 91 | 77.3 | 26,361 | 148 | 2,408,817 | 136 | 91 | 90.8 |
| ブロッコリー | 2,657 | 93.3 | 408,930 | 101.9 | 154 | 109.2 | 18,676 | 108 | 3,351,829 | 116 | 179 | 110.3 |
| 結球キャベツ | 485 | 219.5 | 11,968 | 193.8 | 25 | 88.3 | 12,381 | 112 | 475,521 | 122 | 38 | 106.7 |
| にんじん・かぶ | 7,326 | 178.0 | 247,466 | 109.9 | 34 | 61.7 | 28,217 | 120 | 1,339,559 | 105 | 47 | 93.8 |
| ごぼう | 3,481 | 87.4 | 164,850 | 81.6 | 47 | 93.4 | 19,337 | 96 | 1,045,450 | 122 | 54 | 123.8 |
| えんどう | 201 | 138.7 | 47,052 | 148.6 | 234 | 107.1 | 1,342 | 224 | 353,880 | 289 | 264 | 118.3 |
| アスパラガス | 172 | 101.5 | 96,267 | 93.4 | 558 | 92.0 | 7,682 | 120 | 3,665,966 | 111 | 477 | 86.0 |
| まつたけ | 172 | 128.9 | 562,812 | 114.8 | 3,263 | 89.1 | 178 | 133 | 607,111 | 123 | 3,411 | 85.6 |
| しいたけ | 121 | 102.2 | 34,052 | 105.1 | 281 | 102.8 | 3,212 | 123 | 810,478 | 135 | 252 | 107.7 |
| かぼちゃ | 173 | 433.5 | 11,255 | 208.1 | 65 | 48.0 | 80,936 | 99 | 5,455,729 | 115 | 67 | 111.1 |
| 果実（生鮮・乾燥） | 170,016 | 88.7 | 19,920,247 | 92.3 | 117 | 104.1 | 1,175,153 | 92 | 140,103,181 | 97 | 119 | 106.8 |
| バナナ | 96,084 | 84.3 | 6,753,233 | 71.6 | 70 | 84.9 | 661,225 | 85 | 46,466,144 | 77 | 70 | 95.4 |
| パイナップル | 15,021 | 105.1 | 931,424 | 100.5 | 62 | 95.6 | 82,052 | 96 | 5,105,550 | 93 | 62 | 99.2 |
| レモン | 6,108 | 102.7 | 638,519 | 113.0 | 105 | 110.0 | 29,983 | 99 | 3,895,076 | 114 | 130 | 112.3 |
| オレンジ | 6,672 | 91.4 | 715,572 | 95.6 | 107 | 104.5 | 77,205 | 113 | 7,534,667 | 112 | 98 | 100.2 |
| グレープフルーツ | 19,616 | 75.7 | 1,245,394 | 83.8 | 63 | 110.7 | 133,297 | 94 | 12,574,506 | 100 | 94 | 106.7 |
| メロン | 1,143 | 63.4 | 121,133 | 83.7 | 106 | 132.0 | 17,481 | 85 | 1,888,840 | 83 | 108 | 102.6 |
| ぶどう | 205 | 199.0 | 57,495 | 175.7 | 280 | 88.3 | 7,259 | 137 | 1,154,338 | 140 | 159 | 85.9 |
| キウイ | 7,837 | 113.7 | 2,351,549 | 118.6 | 300 | 104.3 | 41,652 | 108 | 13,280,322 | 113 | 319 | 94.9 |
| いちご | 463 | 88.0 | 393,626 | 84.8 | 851 | 96.4 | 705 | 89 | 589,033 | 85 | 835 | 93.9 |
| 切花（生鮮・乾燥） | 2,854 | 109.8 | 2,088,989 | 108.7 | 732 | 99.1 | 21,644 | 112 | 15,914,240 | 110 | 735 | 100.1 |
| 鳥獣肉類 | 159,759 | 108.4 | 69,604,821 | 109.8 | 436 | 101.2 | 1,010,329 | 105 | 433,204,247 | 105 | 429 | 100.7 |
| 牛肉（くず肉含む） | 43,273 | 87.1 | 18,181,777 | 92.2 | 420 | 105.9 | 272,092 | 97 | 112,890,957 | 105 | 415 | 107.2 |
| 豚肉（くず肉含む） | 70,877 | 114.3 | 37,220,191 | 114.5 | 525 | 100.2 | 454,025 | 105 | 238,124,395 | 106 | 524 | 100.1 |
| 鶏肉 | 36,784 | 137.9 | 8,691,097 | 151.3 | 236 | 109.7 | 236,268 | 120 | 52,573,792 | 104 | 223 | 95.5 |
| 水産物（生鮮・冷蔵・冷凍） | 139,898 | 91.7 | 77,019,467 | 96.8 | 551 | 105.5 | 1,003,200 | 98 | 505,229,256 | 94 | 504 | 96.6 |
| まぐろ類 | 14,833 | 89.4 | 13,643,075 | 99.2 | 920 | 110.9 | 119,896 | 96 | 91,183,932 | 79 | 761 | 88.0 |
| さば・さんま・あじ・いわし | 3,877 | 90.5 | 649,415 | 89.5 | 168 | 98.9 | 48,432 | 73 | 7,697,226 | 66 | 159 | 92.1 |

2　輸出実績

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 果実（生鮮・乾燥） | 289 | 121.5 | 223,247 | 96.6 | 773 | 79.5 | 14,140 | 129 | 4,472,105 | 140 | 316 | 107.2 |
| うんしゅうみかん | 1 | 48.3 | 1,454 | 43.2 | 1,335 | 89.6 | 233 | 210 | 104,308 | 135 | 448 | 333.4 |
| りんご | 96 | 193.8 | 41,900 | 208.0 | 437 | 107.4 | 13,367 | 130 | 3,714,221 | 150 | 278 | 107.4 |
| なし | - | - | - | - | - | - | 43 | 363 | 18,314 | 294 | 424 | 105.3 |
| 野菜（生鮮・冷蔵・乾燥） | - | - | 288,177 | 109.5 | - | - | - | - | 1,562,552 | 92 | - | - |
| 緑茶 | 205 | 130.0 | 379,248 | 135.7 | 1,847 | 104.4 | 1,206 | 110 | 2,343,939 | 122 | 1,944 | 111.3 |

**資料　農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」**

# 関　連　指　数

| 項目 / 年月 | | 消費者物価指数（全国 平成17年＝100 / 愛知県 平成17年＝100） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 総合 | 生鮮野菜 | 生鮮果物 | 肉類 | 魚介類 |
| 全国 | 21年平均 | 100.3 | 103.3 | 98.9 | 105.6 | 104.4 |
| | 22年 3月 | 99.6 | 107.6 | 92.2 | 104.0 | 102.2 |
| | 4月 | 99.6 | 125.1 | 89.0 | 103.3 | 102.5 |
| | 5月 | 99.7 | 116.8 | 104.0 | 102.9 | 102.9 |
| | 6月 | 99.7 | 111.6 | 119.4 | 103.5 | 102.3 |
| | 7月 | 99.2 | 107.8 | 100.4 | 104.0 | 102.2 |
| 愛知県 | 21年平均 | 100.9 | 100.6 | 100.0 | 102.4 | 103.6 |
| | 22年 3月 | 99.5 | 96.1 | 90.5 | 104.0 | 100.7 |
| | 4月 | 99.4 | 114.4 | 86.5 | 101.1 | 100.7 |
| | 5月 | 99.4 | 110.1 | 96.7 | 100.8 | 101.1 |
| | 6月 | 99.5 | 107.4 | 114.0 | 101.3 | 102.9 |
| | 7月 | 99.1 | 101.8 | 98.4 | 100.1 | 97.5 |

資料　全　国‥総務省統計局「消費者物価指数月報」
　　愛知県‥愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

| 項目 / 年月 | 農業物価指数　（平成17年＝100） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 農産物総合 | 米 | 野菜 | 果実 | 畜産物 |
| 21年平均 | 95.7 | 98.0 | 100.7 | 91.5 | 98.5 |
| 22年 3月 | 102.2 | 97.0 | 118.3 | 80.4 | 97.1 |
| 4月 | 105.4 | 97.4 | 126.0 | 90.2 | 97.4 |
| 5月 | 97.8 | 97.1 | 106.2 | 91.3 | 99.1 |
| 6月 | 99.0 | 97.1 | 111.4 | 114.3 | 102.0 |
| 7月 | 99.1 | 97.1 | 105.8 | 132.3 | 101.0 |

資料　農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

名古屋市小売価格（円）

| 品目 / 単位 / 年月 | うるち米（単一品種、「コシヒカリ」以外） | キャベツ | はくさい | ねぎ | レタス | ばれいしょ | だいこん | にんじん | たまねぎ | きゅうり | トマト | 生しいたけ | りんご（ふじ） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 5kg | 1kg | | | | | | | | | | 100g | 1kg |
| 21年平均 | 2,236 | 158 | 172 | 603 | 419 | 313 | 142 | 314 | 203 | 510 | 615 | 201 | 447 |
| 22年 3月 | 1,987 | 150 | 157 | 565 | 460 | 317 | 152 | 255 | 246 | 559 | 607 | 163 | 376 |
| 4月 | 1,995 | 218 | 270 | 669 | 571 | 375 | 194 | 362 | 247 | 493 | 746 | 171 | 423 |
| 5月 | 1,978 | 224 | 246 | 701 | 470 | 369 | 163 | 364 | 259 | 434 | 620 | 195 | 476 |
| 6月 | 2,003 | 170 | 206 | 750 | 381 | 366 | 152 | 322 | 230 | 458 | 504 | 179 | 504 |
| 7月 | 1,982 | 155 | 176 | 717 | 309 | 382 | 168 | 391 | 217 | 469 | 524 | 175 | 560 |

| 品目 / 単位 / 年月 | みかん | グレープフルーツ | オレンジ | いちご | バナナ | キウイフルーツ | 緑茶（せん茶） | カーネーション | きく | バラ | 豚肉（ロース） | 牛肉（ロース） | まぐろ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1kg | | | 100g | 1kg | | 100g | 1本 | | | 100g | | |
| 21年平均 | 604 | 312 | 382 | 143 | 254 | 682 | 603 | 162 | 166 | 326 | 223 | 752 | 479 |
| 22年 3月 | 527 | 277 | 366 | 138 | 237 | 670 | 560 | 149 | 168 | 304 | 233 | 812 | 454 |
| 4月 | - | 266 | 333 | 122 | 239 | 681 | 557 | 155 | 162 | 300 | 234 | 705 | 441 |
| 5月 | - | 278 | 333 | 120 | 228 | 724 | 557 | 166 | 153 | 302 | 220 | 700 | 420 |
| 6月 | - | 267 | 342 | - | 221 | 767 | 560 | 145 | 165 | 295 | 218 | 710 | 459 |
| 7月 | - | 285 | 349 | - | 215 | 769 | 569 | 144 | 176 | 288 | 212 | 731 | 420 |

資料　総務省統計局「小売物価統計調査報告」

あいち農産物生産流通レポート　№448
平成２２年１０月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目１番２号
電話　（０５２）９５４－６４１７